

主要な施策の成果報告書

はじめに

令和2年度は、市制施行50周年を迎える記念すべき年となりました。新たに市となった半世紀前には3万5千人であった本市の人口は、着実なまちづくりへの努力が実を結び7万人に到達しました。また、本格的な超高齢・人口減少社会の到来や新型コロナウイルスの世界的流行により、その対応策と共に新たな価値観や社会システムへの対応が求められる年でもありました。本市におけるコロナ対策では、13回の補正予算により約87億円の事業を実施し、感染防止や経済支援などの対応策に加えて、新たなコミュニケーション手段の導入や業務プロセスの見直しを行いました。

令和2年度予算は、人口減少社会を乗り越え、未来においても恵庭が住みやすいまち、住み続けたいまちであり続けることを「歴史を紡ぎ 夢ある未来を描く令和2年度予算～これまでも、これからも きらめく市民の笑顔と幸福を求めて～」として理念を掲げ、これを実現するための重点施策として5本の柱を立て事業を推進しました。

- 1 新たな時代を築く子ども達や若者の挑戦を支えるまちづくり
- 2 すべての世代が健やかに希望を持って暮らせるまちづくり
- 3 人とまちと自然が響きあい快適さを実感できるまちづくり
- 4 毎日の安全と安心を支え、災害に強いまちづくり
- 5 恵庭の魅力・人材・資源で生み出す活力あるまちづくり

一方で、焼却施設の本稼働や花の拠点の供用開始、消費税率引上げの平年度化や会計年度任用職員制度導入による経常収支の硬直化など、財政上の諸課題に対し配分予算をマイナス6%とするシーリングを設定するなどの対応により持続可能な行財政運営との両立に努めました。

決算では、市税は予算を上回り寄附金が年々増加していますが、労働力人口の減少や不確実なふるさと納税収入はリスクを包含していること、また義務的経費や経常経費の増加への対応と政策的事業を推進するための経常収支の確保は依然として課題です。

これまでの行政目的の達成状況や今後の予算編成の参考とするため、令和2年度に実施した主な事務事業について、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとに分類した「主要な施策の成果報告書」としてまとめましたので報告いたします。

目 次

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち	
目標01 様々な担い手によるまちづくり	408
●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進	408
●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進	408
目標02 時代のニーズに沿った変革	409
●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築	409
●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な 財政運営の確立	410
●公共施設の複合化による機能面の充実	411
目標03 とともに学びともに知る情報	411
●市民と行政との情報共有の推進	411
●開かれた行政運営の推進	411
基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち	412
目標04 災害に強い地域防災力	412
●防災意識の普及、推進	412
●防災情報の的確な発信	412
●耐震改修の推進	412
目標05 支えあう消防救急体制	413
●消防体制の充実	413
●防火団体の育成	413
目標06 安全安心の日常生活	414
●交通安全・防犯活動の推進	414
●消費生活相談事業の推進	415
目標07 助け合いのちを大切にすまち	416
●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援の推進	416
●自立支援事業の推進	417
●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進	420
目標08 夢と健康を育むまち	421
●健康づくり計画・食育推進計画の推進及び啓発	421
●予防接種・健康診査・がん検診の推進	422
●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境	425
目標09 持続可能な地域医療・介護体制	428
●夜間・休日診療体制の維持	428
●地域包括システムの構築	428
●医療費の助成	430
●国民健康保険・後期高齢者医療の状況	433
基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち	434
目標10 いきいきと働きやすいまち	434
●企業誘致等の状況	434
●多様な人材を活かせる労働環境の整備	434
目標11 恵まれた土地を生かした農林業	436
●生産基盤整備の充実	436
●経営の強化と担い手の育成・確保	436
●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進	437

目標 1 2	暮らしを支える商業	438
	●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援	438
	●市民をまきこんだにぎわいづくりの推進	438
目標 1 3	来てみたいまち 住んでみたいまち	439
	●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出	439
	●移住・定住の促進	440
	●都市間交流の促進	440
基本目標Ⅳ	人が育ち文化育むまち	441
目標 1 4	地域で育む子育て環境	441
	●子どもの居場所づくりとして計画的な子どもひろば、子育て支援センター、学童クラブの整備	441
	●民間施設を含めた保育環境の確保	446
	●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進	447
目標 1 5	心豊かな思いやりをもった子どもの育成	448
	●体験型事業の推進	448
	●読書活動による青少年の育成	448
目標 1 6	子どもの自立成長を促す学校教育	450
	●ふるさと教育の推進	450
	●教育環境の整備促進	451
目標 1 7	手を取り合い創造性を育む文化芸術	455
	●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進	455
	●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり	457
基本目標Ⅴ	地域資源・都市基盤を活かすまち	459
目標 1 8	地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり	459
	●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進	459
目標 1 9	水と緑豊かな生活空間づくり	460
	●水・緑など恵庭の魅力の維持	460
	●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保	461
	●防衛施設周辺整備等事業の推進	461
目標 2 0	安全で円滑な地域交通	463
	●除排雪の維持	463
	●身近な市民の足の確保（新公共交通システムの構築）	463
	●橋梁耐震化など生活道路の維持	464
目標 2 1	安定した水供給と持続的な下水処理	465
	●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営	465
	●長寿命化事業・耐震化事業・分流化事業による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道の運営	465
目標 2 2	住み続けたいまちづくり 住まいづくり	467
目標 2 3	ごみの減量と適正な処理	468
	●ごみ処理施設の整備・運営	468
	●ごみ減量化の推進、資源リサイクルの推進	468
目標 2 4	次世代へつなげる環境	469
	●地域環境美化活動への支援	469
	●地域に応じた自然環境の保護と管理	469
	●省資源・省エネルギーの促進	469

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標01 様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

各町内会や各種地域団体、ボランティア団体などのネットワーク化に加え、緑と語らいの広場複合施設「えにあす」を新たな市民活動の拠点とし、市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。また、地元産品や豊かな自然など恵庭市の魅力発信を強化し、ふるさと納税制度の推進に取り組みました。

・市民活動支援補助金 (P. 61～62)

894千円

まちづくりチャレンジ協働事業補助金 (9団体 7事業)

700千円

学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金 (5団体 5事業)

194千円

・市民活動センター推進事業 (P. 64)

市民活動団体の自主的かつ主体的な活動の総合的支援拠点である「市民活動センター」において、「NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会」とともに市民活動団体の活動支援を行いました。

令和3年3月31日現在会員数：118 (団体72 個人14 企業32)

機器貸出：86件 印刷利用：315件 ロッカー：4件

市民活動センター情報を回覧等により情報発信

・ふるさと納税推進事業 (P. 63)

619,585千円

返礼品の拡充や全国的にふるさと納税の認知度が上がってきたこと、民間のふるさと納税サイトを新たに追加したことなどにより寄附が拡大し、恵庭の情報発信や地元産品の消費促進に繋がりました。

令和2年度ふるさと納税 52,947件 寄附総額 1,150,464千円

●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

・地域会館整備事業支援 (P. 61)

地域会館整備補助金 (駒場町3町内会)

30,360千円

・地域会館維持管理・自治活動支援 (P. 61)

地域会館維持管理費補助金

1,246千円

会館借上費補助金

1,428千円

(島松旭町、島松東町、恵央、相生町、末広町)

自治活動交付金

23,136千円

地域会館建物解体補助金 (春日南会館解体工事)

500千円

・「えにわ知恵ネット」事業 (P. 61～62)

登録団体数 96団体 (団体67 個人29)

・地域担当制の実施

平成28年度から3名の地域担当職員を配置し、地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりの推進に取り組みました。

- ・地域担当者会議
- ・生活環境改善要望（242件）
- ・地区町内会連合会役員会等への参加

・市制施行50周年記念事業（P.52～53）

9,749千円

市制施行50周年の大きな区切りに当たり、これまで先人が積み重ねてきたまちづくりの歴史を振り返り、50年の節目を祝いながら記念式典及び各種記念事業を実施しました。

- ・記念式典の開催 開催日 令和2年11月1日
- ・記念パンフレット発刊
- ・市制施行30周年記念タイムカプセルの開封 参加者78人
- ・子ども未来議会開催 子ども未来議員15人
- ・NHK「新・BS日本のうた」の公開収録を実施 観客数158人
- ・みんなで大絵画 参加者108人
- ・記念エッセー募集 応募人数14人
- ・記念マンホールをさがせ！ 応募件数231件
- ・桜の記念講演会・記念植樹 参加者講演会52人、植樹50人
- ・記念フード事業 参加店舗41件 応募件数1,142件 当選件数126件
- ・e-niwa市制施行50周年特別放送 「言葉のタイムカプセル～未来へのメッセージ」
- ・花ロードえにわ内へ写真スポットの設置 など

目標02 時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

・市議会ICT化推進事業（P.48）

4,899千円

全議員にタブレット端末を貸与し、ペーパーレス化の推進、グループウェアを活用した情報の共有化により効率的で迅速な議会運営を図りました。

・行政評価による事務事業の大胆な見直し

第6次行政改革推進計画における目標「持続可能なまちづくりのための行政経営の実現」と位置づけ、「行政評価による事務事業の大胆な見直し」、「民間活力の活用（PPPの推進）」、「公共施設の有効活用（公共施設マネジメント）」の3本の柱に応じて施策を推進しました。

- ・行政評価による事務事業の大胆な見直し
過年度事務事業評価の進捗管理 6事業のうち3事業完了、進捗管理継続3事業
課・職員提案 全10事業のうち6事業完了、進捗管理継続4事業
法定受託事務以外の事務事業 3事業のうち1事業完了、進捗管理継続2事業
- ・民間活力の活用（PPPの推進）
ICT活用による作業時間の省力化 AI-OCRやRPAの導入
導入業務15件 短縮時間330時間
- ・公共施設の有効活用（公共施設マネジメント）
公共施設等総合管理計画の実施計画を策定（削減目標3%）し、計画の推進に努めました。
実施計画における公有財産面積 259,680.53㎡
削減面積の累計 6,788.56㎡（△2.613%）
令和2年度削減面積 3,142.81㎡（建物の用途廃止、売却等）

・職員研修の充実

恵庭市人材育成プログラム検討委員会において、職員研修の具体的な取り組みやあり方について検討を行い、人材育成基本方針及び職員研修計画に基づき、行政評価による事務事業の見直し、行政の変革など地域課題への確に対応することができる人材の育成に努めました。

他市と合同研修を計画していましたが、コロナ禍の影響により中止としました。

OJT計画は対象を新規採用職員及び採用2年目職員に絞り、令和2年度より本実施しています。

- ・一般研修（階層別研修外）
- ・特別研修（コンプライアンス研修、プレゼンテーション研修外）
- ・先進都市派遣研修

・広域共同事業の推進

平成30年度まで参画していた札幌広域圏組合の解散により、令和元年度から近隣12市町村で形成される「さっぽろ連携中枢都市圏」に参画し、広域的な連携事業を推進しました。また、千歳市と連携施策の充実拡大に関する覚書を令和元年8月に締結し、より地域に根差した連携事業に取り組みました。

- ・さっぽろ連携中枢都市圏への参画事業数 50事業
 - ・千歳市との連携事業数 40事業
- 共同プロモーションや観光資源等の推進、移住促進等を実施

・マイナンバーカードの交付円滑化事業

急増した申請及び交付希望による窓口混雑への対応、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として予約制を導入したほか、休日・平日夜間交付窓口を開設し、マイナンバーカードの円滑な交付を図る取り組みを実施しました。

休日・平日夜間交付窓口の開設 休日33日、平日夜間55日

マイナンバーカード交付率 31.9%

●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立

・市税・国保税コンビニ収納、クレジット納付の実施

令和2年度も引き続き市・道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の税目について、コンビニエンスストアでの収納及びクレジットカード納付を実施し、曜日や時間を問わない収納を行うとともに、令和2年度からスマホアプリ【PayPay、LINE Pay】による納付が可能となり、納付方法の多様化による利便性の向上を図りました。

納期内納付率の推移

(納付件数/納税義務者数)

	市・道民税（普徴）		固定資産税		軽自動車税種別割		国民健康保険税			
	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2		R1	
1期(6期)	76.1%	72.0%	82.4%	81.2%	81.6%	83.4%	80.8%	(83.5%)	76.7%	(80.2%)
2期(7期)	77.7%	72.1%	89.2%	87.2%			82.5%	(82.4%)	79.3%	(80.7%)
3期(8期)	73.1%	73.9%	87.6%	86.0%			83.6%	(82.8%)	79.8%	(82.5%)
4期(9期)	77.3%	78.6%	90.9%	90.0%			83.0%	(84.7%)	80.0%	(81.7%)
5期(10期)							83.9%	(85.8%)	81.9%	(84.6%)
期別計	76.1%	74.1%	87.5%	86.1%	81.6%	83.4%	83.3%		80.7%	
前年比	+2.0ポイント		+1.4ポイント		△1.8ポイント		△2.6ポイント			
コンビニ	38.4%	39.4%	21.3%	20.6%	51.3%	50.4%	20.5%		20.4%	
アプリ	1.9%	-	0.9%	-	1.1%	-	0.6%		-	
クレジット	1.5%	2.0%	1.4%	1.2%	2.3%	2.1%	0.4%		0.4%	

※コンビニ、スマホアプリ、クレジットの納付率は税目毎の納期内納付総件数に対する割合。

●公共施設の複合化による機能面の充実

・公共機能の移転・複合化事業

地域の特性を活かした賑わい創出、コンパクトシティ化を推進するため、市民活動センター、保健センター等の公共機能とスポーツクラブ、コンビニエンスストア、地域FM放送等の民間機能を併せた市民活動の新たな拠点「緑と語らいの広場（えにあす）」を平成30年4月より供用開始しています。

・貸部屋数13か所 来館者数248,010人 各室利用人数77,232人

目標03 とともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

●市民と行政との情報共有の推進

・広報えにわの充実 (P.57~58)

18,124千円

広報えにわ発行	396,998部	(月平均33,000部)
くらしのカレンダー	396,998部	(月平均33,000部)
生活便利帳	1,500部	
えにわめぐりマップ(転入者用)	1,500部	

・コミュニティFMラジオおよびメール配信の活用 (P.58)

6,890千円

恵庭市からのお知らせ	1日3回、週5回(閉庁日除く)
恵庭市からのお知らせ	土曜日1回、日曜日1回、同日再放送1日3回
恵庭タウンガイド	1日1回、週4回(閉庁日除く)
市民生活課からのお知らせ	週3回
みんなで地域防災	金曜日1回
保健センターからのお知らせ	木曜日1回
イベント放送(職員の声)	2回
メール配信	月2回

●開かれた行政運営の推進

市民要望や市民意識を把握するなど広聴活動の充実に努め、庁内及び関係機関との連携を強化し、安心して相談できる環境づくりを進めました。

市民の声(苦情・相談など)	46件
弁護士法律相談	36回 178人
司法書士法律相談	3回 10人
人権委員・行政委員相談	1回 3人
総合行政相談	1回 3人

・市民の広場の実施

新型コロナウイルスの影響により実施しませんでした。

・パブリックコメントの推進

令和2年度パブリックコメント実施状況(21案件、6名、意見数20件)

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標04 災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくりの推進に努めました。

●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

・地域防災計画・国民保護計画の推進 (P.145～146)

災害時における警察・消防・町内会等の避難支援等関係者への提供を目的に、避難行動要支援者名簿を更新しました。また、防災組織づくりのための出前講座や学習会を実施するなど、市民啓発活動を積極的に実施しました。

- ・出前講座の実施 9回開催、延べ421人参加
- ・防災学習会の実施（島松小学校にて開催） 68人参加
- ・避難行動要支援者名簿の更新 平常時名簿 563名、災害時名簿1,541名
- ・感染症対策を講じた避難所運営及び環境の検証(柏陽中学校、和光小学校) 55名

・自主防災組織等活動支援助成金 (P.146) 1,745千円

地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織の活動、新規設立に対し、その経費の一部を助成しました。

- ・令和2年度末 自主防災組織 42組織（昨年度末40組織）

・地域防災マスターの育成 (P.145～146)

「恵庭市地域防災マスター」の研修会はコロナ禍の影響により中止。
地域防災マスター向けに防災情報誌「みんなで地域防災」を発行。

・災害用物資備蓄品整備事業 (P.145～146) 11,851千円

大規模災害時を想定した「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の生活用品等の備蓄を計画的に進めました。

- ・ポータブルストーブ10台、食料7,628食、ラップ式トイレ28台、簡易トイレ4,900個等

●防災情報の的確な発信

災害時において的確に防災情報を発信できる体制を確保するため、防災行政無線の更新整備等を実施し、地域防災力の強化を図りました。

・防災行政無線更新整備事業 (P.51) 7,073千円

実施設計委託業務

●耐震改修の推進

・恵庭市耐震改修促進計画の推進 (P.133)

- ・平成22年度「木造住宅耐震診断・耐震改修助成」開始
令和2年度実績：診断 5件、改修 0件

目標05 支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

●消防体制の充実

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

・消防施設などの整備・更新 (P. 143~145)

・消火栓更新整備事業	20基	12,786千円
・はしご付消防ポンプ車更新整備事業	1台	29,173千円 (令和2年度分)
*リース期間 平成29年2月1日~令和9年1月31日		
・消防団資器材整備事業	一式	1,380千円
・消防用資器材整備事業	一式	7,071千円
・指令センターサーバ更新整備事業	一式	19,910千円
・高規格救急自動車整備事業	一式	38,775千円
・学生消防サポーター制度	令和2年度	138名登録

・メディカルコントロール体制の充実 (P. 142)

- ・気管挿管救命士再認定講習3名(修了者現在計12名)

上記以外の救命士関連の講習及び実習についてコロナ禍の影響により中止。

・応急手当普及啓発活動の強化推進 (P. 143)

- ・AED(自動体外式除細動器)トレーナーを活用する等の救急救命講習会の実施
座学部分をWEB上で受講可能とするe-ラーニングの新規活用
開催状況 上級(1回・13人) 普通(33回・320人) 一般(5回・55人)
救命入門(11回・360人)
- ・若年層の救命講習受講促進を目的としたポケモンイラスト入り修了証の交付開始
- ・AED設置施設表示証交付状況
表示証交付施設数(R2年度末):160施設
- ・救急車適正利用ステッカー配布状況
配布施設数(R2年度末):48施設

●防火団体の育成

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

・住宅用火災警報器の設置推進

- ・令和2年度末設置率:75.0%(昨年度末78.0%)
- ・推進活動:出前講座及び訪問指導はコロナ禍の影響により未実施

目標06 安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

●交通安全・防犯活動の推進

地域や関係団体、警察署と連携をとりながら、防犯灯の設置など環境の整備や広報啓発活動を通じた市民一人ひとりの交通安全及び防犯意識の高揚を図り、市民と協働による安全安心なまちづくりを進めました。

また、「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画」が最終年度となったことから、現況分析や課題等を検討し、新たに「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画（令和3年度～令和7年度）」を策定しました。

・自主防犯活動の促進（P.60）

1) 地域安全ニュースの発行

市内で発生した犯罪等を記載した啓発紙を毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

2) 歳末地域安全運動の実施

・令和2年12月17日、18日、21日に恵み野駅、恵庭駅、島松駅にて実施

・防犯灯等の設置状況（P.60）

684千円

令和2年度新設設置状況 防犯灯 10箇所

・防犯カメラ設置補助（P.60）

480千円

令和2年度設置補助金 3町内会、3台設置

・交通安全啓発活動の実施（P.59）

1) 人身事故発生状況(各年12月末現在) (人)

区分 年	発生件数	負傷者	死者
R2年	104	120	1
R1年	120	147	1
比較	△ 16	△ 27	0

2) 交通安全啓発事業

・交通安全警戒・注意等の看板の設置 24基

・交通安全運動の実施 4期（4月・7月・9月・11月）40日

・自転車マナー啓発の実施 恵庭駅1回、恵み野駅1回、恵庭北高校1回、恵庭南高校1回

・ドライブシミュレーターを活用した高齢者安全講習2回

・交通安全教室の開催

(人)

区分	幼稚園・保育園	小学校	老人クラブ	町内会等	合計
回数	48	10	1	2	61
参加人員	2,268	767	35	31	3,101

・交通公園利用実績 団体利用704人、個人利用8,498人

3) 運転免許証自主返納出張窓口の開設

開設回数6回、免許証返納者数81人

4) 交通指導員の活動

・交通安全指導員（11名）

4期40日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施

・交通安全児童指導員（4月～8名、9月9名、10月～8名）

市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等で交通安全教室開催

・交通安全対策交付金事業 (P. 136)

・区画線塗布工事 10,000千円

区 分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
R2年度	28,499	32,890	786	233
R1年度	24,377	32,203	1,061	704
比 較	4,122	687	△ 275	△ 471

●消費生活相談事業の推進

悪質かつ巧妙化する消費トラブル等に迅速、的確に対応するため、消費生活相談員の配置や消費者協会と連携し出前講座を開催するなど消費者の保護及び被害の未然防止に取り組みました。

・消費生活相談及び小売価格調査等の実施 (P. 60~61)

6,976千円

消費生活相談業務

毎週月曜日～金曜日 (10時～17時)

区 分	R2年度	R1年度	増減
相談件数	419	405	14

(相談内訳：件)

区 分	契約・金銭トラブル	サイト登録等	勧誘・販売方法等	架空請求	問合せ	その他	計
件 数	67	23	175	10	28	116	419

消費者出前講座

講 座 内 容	回 数	人 数
高齢者等消費者教育について	1回	24人

1) 恵庭消費生活展

コロナ禍の影響により中止

2) 小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・LPガス)

調査回数：毎月1回

調査地区：17店舗

3) 試買量目調査の実施状況

実施回数：年1回

調査品目：生鮮食料品 6品目

調査地区：9店舗

・無料法律相談の実施 (P. 58 目標3に別掲)

1,188千円

弁護士法律相談 36回 178人

司法書士法律相談 3回 10人

目標07 助け合いのちを大切にすまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりが人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援の推進 (P. 90・95～97)

・児童通所支援等福祉サービス

区 分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R2年度	5,418	149	40,519	18,060	164	189,248	50	4	509
R1年度	6,143	129	40,930	17,249	146	180,016	47	6	465
比 較	△ 725	20	△ 411	811	18	9,232	3	△ 2	44

区 分	医療型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
R2年度	0	0	0	416	11	11,113	325	6	2,341
R1年度	0	0	0	374	17	5,938	556	6	3,913
比 較	0	0	0	42	△ 6	5,175	△ 231	0	△ 1,572

・地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R2年度	717	7	2,970	58(102)	6(5)	65(1,260)	25	1	264
R1年度	866	9	3,863	93(211)	11(6)	97(2,556)	22	1	298
比 較	△ 149	△ 2	△ 893	△35(△109)	△5(△1)	△32(△1,296)	3	0	△ 34

・子ども発達支援センター事業

区 分	障がい児通所支援			市町村中核子ども発達支援センター事業					
	児童発達支援	放課後等 デイサービス	保育所等 訪問支援	センター 基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達 支援教室	巡回発達 相談	
					1歳6ヵ月 健診	3歳児 健診			
R2年度	4,107	28	49	90	26	38	103	31	
R1年度	4,826	377	47	95	39	38	109	36	
比 較	△ 719	△ 349	2	△ 5	△ 13	0	△ 6	△ 5	

区 分	相談支援事業		社会生活 支援	小児神経医 による 発達相談	合 計
	障害児 相談支援	特定 相談支援			
R2年度	771	101	0	46	5,390
R1年度	718	99	16	34	6,434
比 較	53	2	△ 16	12	△ 1,044

・在宅支援サービスの状況

1) 身体障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			日中一時支援事業（ケア型）			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R2年度	5,529.0	36	26,232	0	0	0	68	3	2,069
R1年度	5,062.5	27	24,348	0	0	0	89	2	2,361
比 較	466.5	9	1,884	0	0	0	△ 21	1	△ 292

2) 知的障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R2年度	1,115.5	17	5,772	603	21	4,917
R1年度	1,097.5	13	5,403	1,682	17	12,045
比 較	18.0	4	369	△ 1,079	4	△ 7,128

3) 精神障がい者支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R2年度	431.0	9	2,309	0	0	0
R1年度	477.0	6	2,650	0	0	0
比 較	△ 46.0	3	△ 341	0	0	0

区 分	就労継続A			就労継続B			就労移行		
	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R2年度	6,513	40	49,828	12,403	118	93,967	1,235	17	12,795
R1年度	7,123	35	48,622	9,912	66	91,645	1,312	9	17,437
比 較	△ 610	5	1,206	2,491	52	2,322	△ 77	8	△ 4,642

4) 精神障がい者地域活動支援センター等通所交通費助成

区 分	通所施設数	実人員	助成日数
R2年度	16	18	2,201
R1年度	18	17	2,146
比 較	△ 2	1	55

5) 地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R2年度	329	24	1,185	58	13	101
R1年度	492	42	2,644	118	20	248
比 較	△ 163	△ 18	△ 1,459	△ 60	△ 7	△ 147

・相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」

区 分		身体	知的	精神	重度 心身	発達	高次脳 機能	難病等 その他	障がいの 重複分	総計
R2年度	相談実件数	329	1,425	895	5	244	34	142	453	2,621
	相談延件数	1,356	6,048	3,599	17	861	134	423	1,924	10,514
R1年度	相談実件数	383	1,289	890	8	215	32	143	457	2,503
	相談延件数	1,747	4,793	3,086	23	780	87	364	1,970	8,910
比 較	相談実件数	△ 54	136	5	△ 3	29	2	△ 1	△ 4	118
	相談延件数	△ 391	1,255	513	△ 6	81	47	59	△ 46	1,604

・老人憩の家利用状況

区 分	利用者数	開館日数	1日あたりの 利用者数平均
福 住	638	260	2
和 光	5,829	260	22
大 町	3,970	260	15
柏 陽	6,021	271	22
恵み野	10,956	271	40
島 松	8,735	272	32
東恵庭	159	263	0
合 計	36,308	1,857	20

・介護保険施設等高齢者対策推進事業

対象者 344人(75歳以上) 1人1,235円

・老人健康ハイキング

コロナ禍の影響により中止

・老人クラブ運営事業の推進

単位老人クラブ運営費補助 33クラブ

1,704千円

・敬老祝品贈呈事業

77歳 770人、100歳 20人

計3,629千円

・福祉バスの運行

運行日数 110日 利用者数 2,378人

・生活保護の状況（年度末）

区 分	保護世帯数	保護者数
R2年度	749	958
R1年度	751	982
比 較	2	24

区 分	R 2 年 度		R 1 年 度		比 較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	9,974	434,601	9,987	433,730	△ 13	871
住宅扶助	10,251	197,894	10,105	191,778	146	6,116
教育扶助	617	6,192	663	5,136	△ 46	1,056
介護扶助	2,305	26,938	2,156	24,600	149	2,338
医療扶助	10,162	867,693	10,073	811,642	89	56,051
生業扶助	327	3,362	446	4,876	△ 119	△ 1,514
葬祭扶助	8	3,204	8	1,843	-	1,361
出産扶助	-	-	-	-	-	-
施設事務費	-	-	1	23	△ 1	△ 23
就労自立給付金	5	180	6	327	△ 1	△ 147
進学準備給付金	5	400	3	1,200	2	△ 800
合 計	33,654	1,540,464	33,448	1,475,155	206	65,309

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業の支援（P.70） 122千円

令和2年度啓発事業実績

- ・男女共同参画事業のパネル展を実施
女性団体「女性ネットワークえにわ」と共作による啓発用パネルを作成
男女共同参画推進週間（6月 恵庭駅西口空中歩廊）
- ・啓発用ポスターの掲示、パンフレット等の配布
- ・フェイスブックを活用した周知活動
- ・情報紙「さくらんぼ」の発行 3月 500部
- ・地域FM放送による情報発信 7回
- ・キャッチフレーズ募集事業

市内中学校より男女共同参画キャッチフレーズを募集し、若年層に対する普及啓発を図るとともに、採用したキャッチフレーズを恵庭市の各事業において活用することにより市民の意識の醸成に努めました。（応募5校、20編）

恵庭市男女共同参画推進協議会設立に係る事務支援

- ・役員会 7回参加
- ・定期総会書面開催事務支援

目標08 夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

●健康づくり計画・食育推進計画の推進及び啓発（P. 92・107～109・225～226）

・健康教育・健康相談事業の充実

保健課及び健康スポーツ課

区 分	健康増進事業		出前講座・普及啓発		ヘルティックウォーキング講習会		高齢者健康教育事業		健康相談	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
R2年度	11	227	120	2,860	4	43	0	0	704	1,083
R1年度	12	330	76	2,476	4	37	2	112	954	1,934
比 較	△ 1	△ 103	44	384	0	6	△ 2	△ 112	△ 250	△ 851

・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区 分	参加数	休憩所数	休憩所利用者数
R2年度	1,565	16	1,471
R1年度	4,837	39	6,686
比 較	△ 3,272	△ 23	△ 5,215

・食育推進事業の推進

区 分	食育講座・講話		講演会		食育推進 協議会回数	食育展示 回数
	回数	参加数	回数	参加数		
R2年度	6	24	1	31	2	2
R1年度	6	52	1	49	2	4
比 較	0	△ 28	0	△ 18	0	△ 2

・歯科口腔保健普及啓発事業

区 分	歯科医師健口教室	
	回数	人数
R2年度	0	0
R1年度	4	135
比 較	△ 4	△ 135

※R2コロナ禍の影響により中止

・こころの健康づくり普及啓発

区 分	講演・学習会		ゲートキーパー養成講座		出前講座		パネル等展示	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	日数
R2年度	0	0	0	0	3	181	5	126
R1年度	6	48	1	24	4	146	3	47
比 較	△ 6	△ 48	△ 1	△ 24	△ 1	35	2	79

・こころの健康相談

区 分	電話相談		来所相談		訪問		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
R2年度	42	114	12	27	1	8	55	149
R1年度	53	96	36	64	5	20	94	180
比 較	△ 11	18	△ 24	△ 37	△ 4	△ 12	△ 39	△ 31

・高齢者介護予防事業の実施

区分	短期集中予防事業				介護予防把握事業			
	通所型		訪問型		70歳訪問		その他	
	回数	延人数	回数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R2年度	24	245	0	0	206	230	31	53
R1年度	19	145	0	0	419	466	34	48
比較	5	100	-	-	△ 213	△ 236	△ 3	5

区分	介護予防普及啓発事業						地域介護予防活動支援事業					
	講演会		高齢者健康教室		老人クラブ健康教育		百歳体操サポーター養成講座		サロン支援		※「百歳体操サポーター養成講座」は令和2年度より実回数を記載	
	回数	人員	回数	延人員	回数	人員	回数	実人員	延人員	回数		延人員
R2年度	2	288	4	44	11	191	5	42	75	28		437
R1年度	2	250	4	55	31	697	6	60	124	26	386	
比較	0	38	0	△ 11	△ 20	△ 506	△ 1	△ 18	△ 49	2	51	

●予防接種・健康診査・がん検診の推進

・エキノコックス症予防対策事業

区分	受診数	擬陽性	陽性	中止
R2年度	39	0	0	0
R1年度	44	0	0	0
比較	△ 5	0	0	0

・予防接種事業

区分	BCG接種	四種混合	不活化ポリオ	二種混合 (11～13歳未満)	麻疹	風しん	混合 (麻疹しん)	ヒブ
R2年度	420	1,751	0	505	0	0	987	1,750
R1年度	433	1,741	4	539	0	0	994	1,700
比較	△ 13	10	△ 4	△ 34	0	0	△ 7	50

区分	小児用肺炎球菌	子宮頸がん	水痘	日本脳炎	B型肝炎	インフルエンザ	肺炎球菌 (定期)	風しんの追加的対策	
								抗体検査	予防接種
R2年度	1,740	1	891	3,427	1,276	11,303	747	972	134
R1年度	1,714	1	859	3,529	1,266	9,201	554	814	147
比較	26	0	32	△ 102	10	2,102	193	158	△ 13

区分	ロタウイルス (ロタテック)	ロタウイルス (ロタリックス)
R2年度	318	140
R1年度	-	-
比較	-	-

○日本脳炎はH28.4より実施 ○B型肝炎はH28.10より実施

○風しんの追加的対策はH31.4より実施 ○ロタウイルスはR2.10より実施

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区 分	健康診査・保健指導		肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	受診者数	C型陽性	B型陽性
R2年度	39	3	541	0	5
R1年度	50	3	534	0	7
比 較	△ 11	0	7	0	△ 2

○「要精検」「発見がん」の件数については、令和元年度は実績値、令和2年度は令和3年5月末現在
 ○子宮がん検診は、頸部・体部
 ※がん検診推進事業分含む

区 分	胃がん検診			大腸がん検診			肺がん・結核検診		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
R2年度	1,468	93	1	1,970	204	2	1,797	77	0
R1年度	2,076	145	4	2,707	245	3	2,343	99	0
比 較	△ 608	△ 52	△ 3	△ 737	△ 41	△ 1	△ 546	△ 22	0

区 分	子宮がん検診 ※			乳がん検診 ※			成人歯科健診・相談			
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	回数	受診数	要指導	要医療
R2年度	632	20	2	740	34	3	7	72	5	60
R1年度	1,054	40	1	1,245	43	9	8	141	7	80
比 較	△ 422	△ 20	1	△ 505	△ 9	△ 6	△ 1	△ 69	△ 2	△ 20

・妊婦健康診査費用の助成

区 分	妊婦健康診査受診票		妊婦一般健診	超音波検査	産婦検診
	交付人数	助成総数	助成数	助成数	助成数
R2年度	711	7,681	5,299	2,382	226
R1年度	632	6,770	4,798	1,972	-
比 較	79	911	501	410	226

・産後ケア事業

区 分	実数	延数	利用実績
R2年度	3	4	9泊・延長1回
R1年度	-	-	-
比 較	3	4	

・妊婦にやさしい環境づくり事業（マタニティマークストラップ）

区 分	配布数
R2年度	459
R1年度	405
比 較	54

・特定不妊治療費用の助成

区 分	件数
R2年度	44
R1年度	49
比 較	△ 5

・子育て世代包括支援センター事業

区 分	相談			子育て応援プラン作成件数				
	来所	電話	計	妊娠期	産後期	乳児期	幼児期	計
R2年度	2	29	31	509	383	1,223	1,015	3,130
R1年度	3	19	22	217	191	611	428	1,447
比 較	△ 1	10	9	292	192	612	587	1,683

・母子保健指導

	赤ちゃん 家庭訪問	養育支援 家庭訪問		乳幼児 相談日		来所 相談	妊婦教室 両親教室	
	訪問世帯数	実数	延数	回数	件数	件数	回数	人数
R2年度	430	41	62	9	119	55	3	28
R1年度	418	55	84	11	375	60	12	192
比 較	12	△ 14	△ 22	△ 2	△ 256	△ 5	△ 9	△ 164

	育児教室		子育て講話		思春期保健		5歳児相談	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
R2年度	4	50	7	74	0	0	2	15
R1年度	5	79	13	244	7	269	-	-
比 較	△ 1	△ 29	△ 6	△ 170	△ 7	△ 269	2	15

・歯科保健対策の実施

（う歯予防）

区 分	フッ素塗布者数
R2年度	0
R1年度	1,636
比 較	△ 1,636

※R2コロナ禍の影響により中止

・乳幼児健康診査事業の実施

（乳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察
R2年度	853	6	220
R1年度	846	9	176
比 較	7	△ 3	44

（先天性股関節脱臼健診）

区 分	受診者数	有所見	要治療
R2年度	404	11	0
R1年度	389	10	0
比 較	15	1	0

（1歳6か月児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R2年度	479	4	149	442
R1年度	444	7	111	444
比 較	35	△ 3	38	△ 2

（3歳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R2年度	547	25	144	527
R1年度	502	16	129	468
比 較	45	9	15	59

・特定健診・脳ドック等各種検診事業 (P. 186～187・201～202)

(国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況)

区 分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	2,471	26,247	206	3,248	2,677	29,495
R1年度	3,129	32,866	247	3,910	3,376	36,776
比 較	△ 658	△ 6,619	△ 41	△ 662	△ 699	△ 7,281

(後期高齢者医療健康診査・脳ドックの状況)

区 分	健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	1,142	12,788	201	3,203	1,343	15,991
R1年度	1,443	15,988	248	3,959	1,691	19,947
比 較	△ 301	△ 3,200	△ 47	△ 756	△ 348	△ 3,956

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実 (P. 112～113)

(市民スポーツ交流機会の開催状況)

(単位：人)

大 会 名	期 日	会 場	参加人数
えにお健康・スポーツフェスティバル	中止	-	0
少年少女ミニバレー大会	中止	-	0
恵庭クロスカントリースキー大会	中止	-	0
市民スポーツ大会 (9団体)	通年	市内体育施設他	1,125
合 計	-	-	1,125

・スポーツ機会の提供 (P. 112～113)

(スポーツ教室・講習会等の開催状況)

(単位：人)

事 業 名	期間/回数	会 場	参加人数
フィットネスエクササイズ※	通 年 36回	総合体育館	1,005
各種スポーツ実技指導※	通 年 183回	総合体育館他	3,767
ニュースポーツ教室	中止	-	0
スポーツ少年団スポーツテスト会	中止	-	0
合 計	-	-	4,772

※指定管理者委託事業

・競技力向上事業 (P. 112～113)

(単位：人)

事 業 名	期 間	会 場	参加人数
セガ・サマーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(サッカー)	中止	-	0
セガ・サマーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(テニス)	中止	-	0
セガ・サマーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(バスケット)	中止	-	0
合 計	-	-	0

・スポーツ団体の育成・強化 (P.112~113)

1) 市内スポーツ団体の会員登録状況 (単位：団体、人)

区 分	体育協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
R2年度	22	1,994	33	866
R1年度	22	2,152	32	909
比 較	0	△ 158	1	△ 43

2) スポーツ振興基金利子運用事業 (単位：人、団体)

区 分	対象者		種 目
	個人	団体	
国際大会	0	0	
全国大会	9	3	陸上、バレーボール、空手道、テニス、サッカー、スキー、バスケットボール他
高校総体	1	0	スキー
高校選抜	5	1	スキー、野球、空手道、新体操
国民体育大会	0	0	
全道大会	3	2	バドミントン、バスケットボール
合 計	18	6	

・屋内体育施設の整備充実 (P.114)

1) 屋内体育施設の維持補修事業

・屋内体育施設備品購入

468千円

2) 屋内スポーツ施設等利用状況 (単位：人)

区 分	R2年度		R1年度		比 較
	個人	団体	個人	団体	
総合体育館	59,664	29,996	76,200	57,034	△ 43,574
島松体育館	7,352	16,932	9,457	23,414	△ 8,587
駒場体育館	3,560	11,225	3,419	15,926	△ 4,560
福住屋内運動広場	2,116	14,325	2,024	15,763	△ 1,346
合 計		145,170		203,237	△ 58,067

※団体の利用状況及び大会を含む

3) 学校開放事業の利用状況 (単位：団体、人)

区 分	R2年度	R1年度	比 較
利用団体数	93	92	1
利用者数	18,367	25,194	△ 6,827

※H28より少年団に対する学校教育体育施設開放については教育長裁量による開放につき利用数からは除外

※コロナ禍の影響により使用できない期間があったため、利用人数が大きく減少している。

・屋外体育施設の整備充実 (P.114)

1) 屋外体育施設の維持補修費

・市民スキー場圧雪車購入 9,350千円

2) 屋外スポーツ施設利用状況

(単位：人)

区 分	R2年度	R1年度	比 較
恵庭公園野球場	5,994	7,284	△ 1,290
恵み野中央公園野球場	4,072	5,120	△ 1,048
かしわ公園野球場	1,595	660	935
恵庭公園庭球場	9,323	3,890	5,433
恵み野中央公園庭球場	6,779	5,128	1,651
中島公園庭球場	7,839	5,624	2,215
ふるさと公園庭球場	788	1,044	△ 256
めぐみの森公園庭球場	166	111	55
あやめ緑地公園庭球場	91	166	△ 75
恵庭公園陸上グラウンド	6,580	9,851	△ 3,271
恵庭公園球技場	17,650	6,261	11,389
島松屋外運動場	17,113	3,568	13,545
市民スケート場(夏期)	425	3,354	△ 2,929
市民スキー場(夏期)	0	10	△ 10
市民スケート場(冬期)	11,291	11,436	△ 145
市民スキー場(冬期)	5,393	4,376	1,017
島松スケート場(冬スピード)	5,105	3,807	1,298
島松スケート場(冬ホッケー)	0	0	0
恵庭中央パークゴルフ場	16,831	19,030	△ 2,199
漁川カワセミパークゴルフ場	7,644	9,372	△ 1,728
漁川アイリスパークゴルフ場	4,487	5,417	△ 930
島松パークゴルフ場	2,973	4,022	△ 1,049
えなみ公園パークゴルフ場	0	0	0
北栄会館パークゴルフ場	608	703	△ 95
合 計	132,747	110,234	22,513

3) 市民水泳プール利用状況

(単位：人)

区 分	R2年度	R1年度	比 較
恵庭水泳プール	0	5,009	△ 5,009
島松水泳プール	0	3,593	△ 3,593
柏水泳プール	0	4,985	△ 4,985
和光水泳プール	0	9,202	△ 9,202
東恵庭水泳プール	0	2,192	△ 2,192
若草水泳プール	0	5,203	△ 5,203
恵み野水泳プール	0	3,517	△ 3,517
恵み野旭水泳プール	0	5,368	△ 5,368
合 計	0	39,069	△ 39,069

※コロナ禍の影響によりR2開設なし

4) 恵庭南高校水泳プール利用状況

コロナ禍の影響により開設なし

目標09 持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

●夜間・休日診療体制の維持 (P.108)

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。

・休日・夜間診療事業

区 分	休 日		土 曜 日		夜 間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
R2年度	66	419	50	104	359	781	1,304
R1年度	67	1,672	50	392	360	1,730	3,794
比 較	△ 1	△ 1,253	0	△ 288	△ 1	△ 949	△ 2,490

・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所1カ所、救急告示病院3カ所、消防署1カ所

●地域包括システムの構築 (P.221～230)

・高齢者の状況

区 分	令和3年3月末	令和2年3月末
総人口	69,994 人	69,900 人
高齢者数	19,647 人	19,354 人
高齢化率	28.1 %	27.7 %

・審査会の状況

	R2年度	R1年度
審査会回数	45 回	60 回
審査件数	1,772	2,644
審査件数/回	40 件	44 件

・要介護認定等の状況(第1号被保険者)

認定者数 (令和3年3月末)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	572	500	665	451	306	299	247	3,040

・介護保険サービスの利用状況(第1号被保険者)

居宅サービス受給者数 (令和3年3月審査分)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	256	309	466	334	155	101	60	1,681

施設サービス受給者数 (令和3年3月審査分)

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	計
人 数	109	196	40	14	359

地域密着型サービス受給者数 (令和3年3月審査分)

区 分	地域密着型サービス
人 数	526

・第1号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料（円）	被保険者数	割合
第1段階	11,500	3,619	18.8%
第2段階	17,200	1,662	8.6%
第3段階	31,600	1,420	7.4%
第4段階	48,900	2,568	13.4%
第5段階	57,600	2,351	12.2%
第6段階	72,000	2,297	12.0%

所得段階	保険料（円）	被保険者数	割合
第7段階	74,800	3,314	17.2%
第8段階	86,400	1,207	6.3%
第9段階	100,800	365	1.9%
第10段階	106,500	428	2.2%
計		19,231	100%

・保険料の収納状況

	R2	R1
収納率	99.89%	99.90%

・保険料の減免状況

人数	減免額
15	947,100円
うち新型コロナウイルスに係る減免	
14	935,600円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置（利用者負担のうち1/4を軽減）

対象者数 63人 経費 1,647千円

・高齢者相談支援事業

区分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	619	862

・地域包括支援センターの設置

（高齢者相談事業）

区分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者(一般)	229	832	200	804	146	777	167	759	742	3,172
総合事業対象者	84	915	66	520	56	722	29	661	235	2,818
要支援者	235	3,187	239	2,250	193	3,365	189	4,421	856	13,223
要介護者	68	638	53	313	32	484	51	403	204	1,838
障がい者	4	12	0	0	0	0	0	0	4	12
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	620	5,584	558	3,887	427	5,348	436	6,244	2,041	21,063

・福祉サービスの推進

事業名	利用者数	年間利用（日・回）数
配食サービス事業	165人	29,706食
外出支援サービス事業	96人	1,827回
訪問理美容サービス事業	17人	57回
除雪サービス事業	408世帯	6,716回出動

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

- ・緊急通報システム端末機貸与事業 年度末設置台数315台（固定49台、携帯266台）
- ・訪問サービス事業 利用者数 8人、配布した乳酸飲料 340本

・家族介護支援事業の推進

事業名	実施概要
介護教室事業	コロナ禍の影響により中止
家族介護者交流事業	合同交流：開催回数4回 参加者数41人 随時交流：中止
家族介護用品支給事業	利用者数 32人
介護支援専門員支援事業	利用件数 36件
成年後見制度利用支援事業	利用件数 4件 市長申立2件

●医療費の助成

・重度障がい者医療費の助成 (P.92)

(受給者数)

区 分	身障者	3級外部	知的障がい者	精神障がい者	合 計
R2年度	1,068	285	199	19	1,571
R1年度	1,103	289	202	19	1,613
比 較	△ 35	△ 4	△ 3	0	△ 42

(助成金額) 道補助対象分

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	1,513	27,564	21,707	60,347	23,220	87,911
R1年度	1,624	30,216	23,429	65,959	25,053	96,175
比 較	△ 111	△ 2,652	△ 1,722	△ 5,612	△ 1,833	△ 8,264

(助成金額) 市単独分

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	288	6,296	5,195	10,540	5,483	16,836
R1年度	306	7,646	6,046	11,868	6,352	19,514
比 較	△ 18	△ 1,350	△ 851	△ 1,328	△ 869	△ 2,678

(助成金額) 合計

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	1,801	33,860	26,902	70,887	28,703	104,747
R1年度	1,930	37,862	29,475	77,827	31,405	115,689
比 較	△ 129	△ 4,002	△ 2,573	△ 6,940	△ 2,702	△ 10,942

・子ども医療費の助成 (P.95)

(受給者数)

区 分	0～2歳児	3～6歳児	小学生	中学生	合 計
R2年度	1,273	2,014	1,738	31	5,056
R1年度	1,283	2,105	1,803	28	5,219
比 較	△ 10	△ 91	△ 65	3	△ 163

※H31.4より小学1～3年生の通院助成を開始

(助成金額)

区 分	入院 (未就学児)		入院外 (未就学児)		入院 (小学生)		通院 (小学生)	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	415	14,069	43,919	52,964	51	1,693	16,509	20,148
うち道補助対象分	415	13,140	43,919	40,384	51	1,693	-	-
うち市単独分(一部)	42	929	20,792	12,580	-	-	-	-
うち市単独分(全部)	-	-	-	-	-	-	16,509	20,148
R1年度	633	21,107	63,320	77,100	66	2,055	17,337	20,620
比 較	△ 218	△ 7,038	△ 19,401	△ 24,136	△ 15	△ 362	△ 828	△ 472
区 分	入院 (中学生)		合 計					
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)				
R2年度	14	491	60,908	89,365				
うち道補助対象分	-	-	44,385	55,217				
うち市単独分(一部)	-	-	20,834	13,509				
うち市単独分(全部)	14	491	16,523	20,639				
R1年度	23	686	81,379	121,568				
比 較	△ 9	△ 195	△ 20,471	△ 32,203				

※H31.4より小学1～3年生の通院助成を開始

(未熟児養育医療費助成)

区 分	実人数 (人)			件数 (件)			助成金額 (千円)		
	医療	食事療養	計	医療	食事療養	計	医療費	食事療養費	計
R2年度	17	16	33	40	35	75	3,616	688	4,304
R1年度	20	20	40	67	59	126	5,895	1,323	7,218
比 較	△ 3	△ 4	△ 7	△ 27	△ 24	△ 51	△ 2,279	△ 635	△ 2,914

・ひとり親家庭等医療費の助成 (P. 95)

(受給者数)

区 分	親	子	計
R2年度	762	1,167	1,929
R1年度	773	1,179	1,952
比 較	△ 11	△ 12	△ 23

(助成金額)

[親] (道補助対象分) (市単独分)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	69	2,794	9,620	21,913	9,689	24,707
R1年度	86	3,468	9,793	20,997	9,879	24,465
比 較	△ 17	△ 674	△ 173	916	△ 190	242

[子] (道補助対象分) (市一部負担分含む)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	38	979	9,473	15,735	9,511	16,714
R1年度	57	2,099	11,331	17,625	11,388	19,724
比 較	△ 19	△ 1,120	△ 1,858	△ 1,890	△ 1,877	△ 3,010

[合計]

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R2年度	107	3,773	19,093	37,648	19,200	41,421
R1年度	143	5,567	21,124	38,622	21,267	44,189
比 較	△ 36	△ 1,794	△ 2,031	△ 974	△ 2,067	△ 2,768

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国民健康保険

(加入状況)

区 分	世 帯 数		被 保 険 者 数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
R2年度	8,322	24.31	12,538	17.91
R1年度	8,374	24.79	12,645	18.09
比 較	△ 52	△ 0.48	△ 107	△ 0.18

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R2年度	6,498,435	6,506,773	△ 8,338
R1年度	6,593,033	6,722,109	△ 129,076
比 較	△ 94,598	△ 215,336	120,738
増加率%	△ 1.43	△ 3.20	

(診療費の状況)

区 分	件 数	受診率%	費 用 額		
			金額 (千円)	1件当り (円)	1人当り (円)
R2年度	124,088	989.70	4,059,891	32,718	323,807
R1年度	138,152	1,092.54	4,372,044	31,647	345,753
比 較	△ 14,064	△ 102.84	△ 312,153	1,071	△ 21,946
増加率%	△ 10.18	△ 9.41	△ 7.14	3.38	△ 6.35

・後期高齢者医療

(加入状況)

区 分	被 保 険 者 数	
	年平均	対市全人口%
R2年度	9,654	13.78
R1年度	9,471	13.58
比 較	183	0.20

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R2年度	1,039,400	1,018,897	20,503
R1年度	976,816	959,210	17,606
比 較	62,584	59,687	2,897
増加率%	6.41	6.22	

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標10 いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ(職種や就業形態)を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を実施しました。

●企業誘致等の状況

民間が所有する工業団地内の未操業地について、仲介・斡旋を継続的に行うことなどの誘致活動を進めた結果、5社(新規立地5社)の立地が決定しました。

●多様な人材を活かせる労働環境の整備

・就職促進事業 (P.119)

4,000千円

勤労者、企業双方のニーズに対応するため技能向上、就業機会の創出と拡大に努めるとともに若者の定住促進を図る取組を実施しました。

1. 就職促進事業

(1) WEB合同企業就職説明会(パート・アルバイト向け) 令和2年10月30日

参加者13名 参加企業6社

(2) WEB合同企業就職説明会(正社員向け) 令和2年10月30日

参加者14名 参加企業6社

上記(1)、(2)による就職決定者3名

2. 採用力向上支援事業

(1) 企業採用担当者向けセミナー 令和2年10月23日

受講企業9社 受講者9名

(2) 採用に関するコンサルタント業務

実施企業4社

3. 企業情報発信事業

(1) 冊子の政策及び広報媒体による周知

掲載企業6社、1,500部作成、広告掲載、WEBサイトへの告知記事掲載

・求職・労働相談 (P.119)

661千円

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、地域職業相談室の運営により求人情報の把握や発信、求職活動の利便性向上を図りました。

また、季節労働者の通年雇用化を図るため、通年雇用促進協議会において厚生労働省からの委託事業及び独自事業の通年雇用促進支援事業を実施しました。

地域職業相談室

年 度	ジョブガイド恵庭(ミニハローワーク)				恵庭市相談室	
	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
R2年度	4,054	674	1,098	329	57	14
R1年度	4,410	1,111	1,113	355	18	2
比 較	△ 356	△ 437	△ 15	△ 26	39	12

通年雇用促進支援事業の状況

事業名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	60社	48社	4人	4人
②事業所向け経営支援講習事業	60社	115社	4人	5人
③人材確保育成助成金制度普及啓発事業	1,200社	967社	11人	19人
④求人企業情報提供事業（企業ガイドブックWeb版掲載）	25社	26社	8人	17人
⑤事業所向け調査研究事業	850社	986社	—	—
⑥冬季出向型通年雇用相談事業	3社	0社	1人	0人
⑦事業所向けドローン関連業務委託事業	50社	19社	3人	2人
⑧通年雇用化支援講習業務委託事業	25人	36人	1人	2人
⑨建設技能資格取得業務委託事業	27人	20人	3人	1人
⑩施設管理技能資格取得業務委託事業	6人	3人	1人	0人
⑪介護関連資格取得業務委託事業	11人	0人	2人	0人
⑫季節労働者向け建設施工管理技士講習事業	10人	2人	2人	1人
⑬季節労働者向けドローン関連業務委託事業	10人	9人	2人	0人
⑭商業・サービス業技能講習事業	20人	19人	1人	2人
⑮合同企業就職説明会事業	7人	6人	3人	0人
⑯季節労働者実態調査事業	950人	916人	—	—
⑰季節労働者資格取得支援事業	5人	6人	1人	0人
⑱登録季節労働者情報提供事業	650人	605人	1人	3人
⑲建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	15人	10人	1人	0人
⑳季節労働者相談事業	60人	61人	1人	0人
合計	4,044件	3,854件	50人	56人
目標達成率	95.3%		112.0%	

・シルバー人材センター事業支援（P.119）

12,129千円

高齢者の生きがい対策、社会参加の推進を図り、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会を目指し、恵庭市シルバー人材センターへ支援を行いました。

シルバー人材センターの事業状況

年度	公共事業（恵庭市分）		その他		合計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
R2年度	316	110,440	2,633	153,007	2,949	263,447
R1年度	358	77,153	2,898	167,630	3,256	244,783
比較	△42	33,287	△265	△14,623	△307	18,664

目標11 恵まれた土地を生かした農林業

農地・農業用排水施設の整備や水利施設の保全管理の推進、農業の多様な担い手の育成により、経営基盤の強化を図り、農畜産物の生産体制の継続と発展に努めました。

●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備やかんがい排水施設の整備を実施したほか、環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

- ・排水路管理事業 (P. 124) 7, 448千円
排水路補修工事(西4線幹線未装甲改修、東2線、柏木沢、西1線幹線)、排水路法面草刈ほか
- ・内水排除施設管理事業 (P. 124~125) 30, 343千円
排水機場管理事業(北島、西4線、中島松、漁太、漁太川排水機場)
釜加地区内水排水機場管理費負担金(南21号・南18号排水機場)
- ・国営かんがい排水事業 (P. 125) 12, 636千円
国営土地改良事業地元負担金(道央地区)
- ・多面的機能支払交付金事業 (P. 125) 104, 006千円
農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金
- ・道営農地整備(経営体育成型)事業 (P. 125) 85, 375千円
農地整備事業(漁川右岸、左岸島松、左岸北栄)
- ・国営造成施設(揚水機場)管理事業費 (P. 125) 32, 282千円
基幹水利施設(千歳川第1・第2揚水機場)の管理

●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。

また、経営管理能力の向上などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を推進しました。

- ・第4期農業振興計画策定事業費 (P. 121) 572千円
農業者および関係機関と連携し、持続可能な農業の実現に向けた計画を策定しました。
- ・農業後継者対策費 (P. 121) 9, 000千円
農業次世代投資資金(経営開始型)事業
50歳未満新規就農者に対する支援 実績5件(個人3名、夫婦2組)
農業後継者育成事業 申請者なし
農業研修派遣事業 コロナ禍の影響により中止
- ・農業者支援資金利子補給事業 (P. 121) 476千円
スーパーL資金、農業経営緊急支援資金に係る利子補給
- ・農業振興対策事業 (P. 121~122) 52, 535千円
強い農業づくり事業(8件)
簡易耕土改良施工用作業機械借り上げ(4件 事業面積625a)
ジャガイモシストセンチュウ対策(10件 作付面積2,730a)
米麦改良協会補助事業ほか
- ・環境保全型農業直接支払交付金事業 (P. 122) 4, 736千円
環境保全型農業への取り組み支援(11件 対象面積8,187a)
- ・畜産振興事業費 (P. 122) 2, 340千円
酪農経営改善事業(13件)、家畜自衛防疫事業(26件、消毒回数6回)
酪農ヘルパー推進事業(13件)
- ・市営牧場管理事業 (P. 123) 17, 899千円
酪農事業の発展におよび飼料基盤確保のため、若牛の集団育成を実施
(運営期間:5月20~10月23日 平均受入頭数:178頭)

●農工商等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

・恵庭市農工商等連携推進ネットワーク（P.127～128）

市内の企業・団体が参画して設立した「恵庭市農工商等連携推進ネットワーク」の活動に加え、友好都市協定を結んだ藤枝市と平成29年8月に連携推進ネットワークを設立し、それぞれの特徴を生かした産業振興や農畜産物の販路開拓に取り組みました。

（1）交流・連携事業

定期総会（書面開催）	令和2年	7月20日	回答数47人
連携セミナー	令和3年	2月9日	参加者42人 出店事業者6社

（2）販路拡大事業

どさんこプラザいしかりフェア 出展者数4社
北海道産取引商談会等、例年出展を予定している商談会はコロナ禍の影響により中止

（3）広報・情報提供事業

取組等をHPにて情報発信、道・関係団体等の支援メニューについてメールニュースにて情報提供を実施。パンフレット「えにわづくり」を更新しました。

（4）新商品・新サービス開発事業

新商品数20品（市内連携商品17品、藤枝市内連携商品3品）

（5）藤枝市との連携事業

ネットショップ藤の恵の運営 販売実績 販売商品137商品（うち恵庭市46商品）
事業者間の交流（産業祭の出店）
コロナ禍の影響により両市で開催する産業祭は中止

・えにわん産業祭

コロナ禍の影響により中止

目標12 暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

・商店街活性化振興事業 (P. 127)

1, 248千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

(1) 商店街振興対策補助金

商店街の景観整備などによるイメージアップと魅力向上を図る事業を支援

(2) 商店街活力再生促進事業補助金

商店主達が地域のイベントを開催し、商店街の活性化を図る事業を支援

・起業家支援事業 (P. 126)

8, 809千円

市内で新たに新店を出す事業者に対する新規出店支援補助金の交付、起業する際の様々な疑問や悩みを解消し事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナーや専門家による個別相談会を開催しました。

●市民をまきこんだにぎわいづくりの推進

・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業 (P. 129)

市民が主体となって、市内企業や商店、様々なサークル活動団体等の人と人とのつながりを大事に運営し、まちなぎわいを創出し、まちの活性化、地域振興につなげました。

・えにわマルシェ コロナ禍の影響により中止

・プチマルシェ

①会 場：道と川の駅「花ロードえにわ」

開催日：令和2年7月11日～10月31日までのうち46日間 出店数：延73店

②会 場：プレスポ恵み野

開催日：令和2年8月23日～令和3年2月21日までのうち4日間 出店数：延19店

③会 場：札幌駅前通地下広場

開催日：令和2年9月16日、17日 出店数：延10店

目標13 来てみたいまち 住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭溪谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。

●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

恵庭市の観光資源である「恵庭溪谷」「花のまち」を活かした観光の取組みを推進するため、観光振興施策の展開を検討しました。

また、観光PRの強化や拠点の充実、新たな観光資源の創出に重点を置いて観光振興を図りました。

- ・恵庭市観光推進協議会の開催 協議会3回開催
- ・オープンガーデンイベント「恵みの庭めぐり」 コロナ禍の影響により中止
- ・恵庭市HP「花と観光」 閲覧数 127,496件（前年度比109.4%）
- ・恵庭市公式観光WEBサイト「ENIWA EYE」 閲覧数65,045件（前年度比△59.9%）
- ・さっぽろビアガーデンふるさとPRステージ コロナ禍の影響により中止
- ・観光ガイドブック「旅するえにわ」の作成
- ・花の拠点関連ガイドブックの作成

・恵庭花のまちづくり推進会議事業（P.130）

平成30年3月に新・花のまちづくりプランを策定し、「美しいまちで暮らそう」を目標に市民、行政、団体、企業が協働により花と緑を活かした環境づくりに取り組みました。

- （1）花とくらし展 コロナ禍の影響により中止
- （2）花マップの製作 18,000部（市内JR各駅、花ロードえにわ外にて配布）
- （3）YouTube動画作成、はなふるPR動画編集

・対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業（P.128） 1,613千円

令和2年度は、コロナ禍の影響により人の往来が制限されており、当初予定していた一部事業が実施できませんでしたが、オンラインによる学校交流を実施しました。

- ・「ENIWA EYE」の運営 情報発信：17回、SNS広告を実施
- ・訪日ツアー受入調整・マッチング

コロナ禍の影響による代替事業として恵庭南高校と台中市立文華高級中学校でオンラインによる学校交流を行いました。

- ・ **全国都市緑化北海道フェア事業 (P. 138~139)** **63, 191千円**
北海道とともに招致をしていた「全国都市緑化北海道フェア」の令和4年夏の開催が決定しました。2月に実行委員会を設立し、実施計画の策定に着手しました。愛称を「ガーデンフェスタ北海道2022」とし、シンボルマークを決定、ガーデンフェスタ北海道フレンズ「キュンちゃん」のオリジナルかぶりものデザインを北海道内の小中学生を対象として募集しました。また、関係団体へ庭園出展の意向調査や企業等からの協賛の募集を開始しました。

- ・ **恵庭ふるさと公園再整備事業 (P. 138)** **3, 641千円**
 - ・ 恵庭ふるさと公園修正設計
 - ・ 恵庭ふるさと公園既存樹木伐採

- ・ **花の拠点整備事業 (P. 129~130)** **769, 277千円**
 - ・ 花の拠点および貯水槽整備工事
 - ・ 花の拠点センターハウス改修工事、遊具広場整備
 - ・ 道と川の駅外構・サイン整備
 - ・ 農畜産物直売所作業所整備
 - ・ 松園線道路整備工事

- ・ **花の拠点運営事業 (P. 130~131)** **78, 877千円**
令和2年11月1日に花の拠点「はなふる」がオープンしました。コロナ禍の影響によりイベントの実施等制約がある中でのスタートでしたが、冬季は子どもの遊び場として雪山を整備し、季節を問わず楽しむことができる公園づくりに努めました。
令和3年度の本格的な花の観光シーズンに向けて、パンフレットの作成等情報発信を行いました。

●移住・定住の促進

- ・ **移住促進事業 (P. 63~64)** **3, 757千円**
平成23年度に開設した「恵庭市移住・定住支援サイト」では、恵庭市の魅力を発信し、道外で開催された移住イベントに参加するなど、恵庭市の知名度向上に努めました。
また、令和2年度はコロナ禍の影響により対面での相談会を中止し、代替としてオンラインを活用した移住相談を実施しました。
 - ・ 恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス件数：39, 240件
 - ・ 移住イベントへのブース出展：4イベントへ参加 合計相談者16組
 - ・ オーダーメイドツアー参加者数：4組
 - ・ オンライン移住相談参加者数：2組

- ・ **西島松地区土地利用推進事業 (P. 65)** **7, 183千円**
西島松地区の市街化区域における低利用地活用のため、平成30年度から調査を開始しました。調査結果に基づき、令和2年度は防風林解除協議、町名変更協議、測量調査を実施しました。

●都市間交流の促進 (P. 70) **95千円**

- ・ **恵庭市制施行50周年記念式典への招待**
開催日 令和2年11月1日 (来恵者4名)

- ・ **姉妹都市等交流促進事業補助金**
コロナ禍の影響により補助金交付実績なし。
例年実施している「恵庭花と暮らし展」及び「わき愛あいフェスティバル」での交流についてはコロナ禍の影響により中止。

基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち

目標14 地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

●子どもの居場所づくりとして計画的な子どもひろば、子育て支援センター、学童クラブの整備 (P. 94・98～104)

子育てについての相談・指導などの各種支援に努め、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や子どもひろば事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、児童手当、児童扶養手当等の各種手当を支給し、家庭の生活の安定を図りました。

・学童クラブ事業 (P. 100～101)

168,472千円

放課後の時間帯における児童の健全な育成を図るため学童クラブを運営しており、令和2年度は恵み野旭小学校区に1箇所増設し全17箇所で行事を実施しました。平成29年度から3か年の民間委託試行事業を経て、令和2年度は15箇所を民間委託により実施しました。また、学童クラブ支援員のキャリアに応じた処遇改善補助金を交付し、待遇改善を図りました。

・学童クラブ受入状況 (月平均)

区分	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	障害児	合計
R2年度	219	157	136	64	22	6	10	614
R1年度	171	175	134	75	37	13	11	616
比較	48	△ 18	2	△ 11	△ 15	△ 7	△ 1	△ 2

・学童クラブ在籍状況 (年度末)

	児童数		児童数		児童数		児童数
恵庭	51	和光	34	若草	38	恵み野旭	32
恵庭第2	51	和光第2	50	若草第2	39	恵み野旭第2	29
恵庭第3	26	和光第3	24	若草第3	31	恵み野旭第3	7
柏	38	島松	41	恵み野	37		
柏第2	27			恵み野第2	32		

・松恵子どもクラブ受入状況 (月平均)

区分	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	障害児	合計
R2年度	14	18	14	16	10	12	-	84
R1年度	18	14	15	11	15	9	-	82
比較	△ 4	4	△ 1	5	△ 5	3	-	2

・子育て支援センター事業の充実（相談件数・利用者数）

相談項目	件数	年齢等	利用者数
しつけ（基本的な生活習慣）	170	保護者	8,485
発達（言語、情緒、身体）	132	0歳	1,877
子どもの対人関係	29	1歳	3,587
親子・家庭関係	77	2歳	2,778
問合せ	360	3歳以上	1,728
合計	768	合計	18,455

※相談件数・利用者数は、柏陽・恵み野・島松・黄金、柏、恵庭の各支援センターの合計

・子どもひろば利用状況

（令和3年3月31日現在）

区分	就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計	
R2年度	恵庭子どもひろば	354	6,771	110	2	386	7,623
	黄金子どもひろば	135	6,803	296	11	184	7,429
	島松子どもひろば	223	2,799	716	51	298	4,087
	恵み野子どもひろば	600	941	306	-	1,174	3,021
	若草っこひろば	-	881	-	-	-	881
	柏子どもひろば	146	2,364	391	24	214	3,139
	計						26,180
R1年度	恵庭子どもひろば	561	10,989	171	124	628	12,473
	黄金子どもひろば	511	11,160	456	14	636	12,777
	島松子どもひろば	256	3,505	642	56	503	4,962
	恵み野子どもひろば	2,162	2,453	681	6	2,140	7,442
	若草っこひろば	-	2,520	-	-	-	2,520
	柏子どもひろば	654	4,709	730	45	701	6,839
	計						47,013
比較	恵庭子どもひろば	△ 207	△ 4,218	△ 61	△ 122	△ 242	△ 4,850
	黄金子どもひろば	△ 376	△ 4,357	△ 160	△ 3	△ 452	△ 5,348
	島松子どもひろば	△ 33	△ 706	74	△ 5	△ 205	△ 875
	恵み野子どもひろば	△ 1,562	△ 1,512	△ 375	△ 6	△ 966	△ 4,421
	若草っこひろば	-	△ 1,639	-	-	-	△ 1,639
	柏子どもひろば	△ 508	△ 2,345	△ 339	△ 21	△ 487	△ 3,700
	合計						△ 20,833

・ファミリーサポートセンター会員数／援助活動件数

	援助内容	件数
・依頼会員 699人	保育所・幼稚園への送迎、預かり等	50
・協会員 109人	学童保育の送迎、預かり等	25
・両方会員 66人	保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	55
合計 874人	保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	93
	子どもの病気、習い事等の場合の援助	265
	その他	1
	合計	489

・児童手当

区 分	第1子		第2子		第3子以降		合 計		
	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	
R2年度	3歳未満	5,527	82,905	4,096	61,440	2,065	30,975	11,688	175,320
	3歳以上	22,677	226,770	16,444	164,440	6,321	94,815	45,442	486,025
	中学生	9,647	96,470	5,491	54,910	610	6,100	15,748	157,480
	特例給付	1,297	6,485	1,100	5,500	540	2,700	2,937	14,685
	小計	39,148	412,630	27,131	286,290	9,536	134,590	75,815	833,510
R1年度	3歳未満	5,602	84,030	4,251	63,765	2,180	32,700	12,033	180,495
	3歳以上	23,097	230,970	16,424	164,240	6,225	93,375	45,746	488,585
	中学生	9,304	93,040	5,283	52,830	644	6,440	15,231	152,310
	特例給付	1,260	6,300	1,073	5,365	504	2,520	2,837	14,185
	小計	39,263	414,340	27,031	286,200	9,553	135,035	75,847	835,575
比 較		△ 115	△ 1,710	100	90	△ 17	△ 445	△ 32	△ 2,065

※3歳未満・3歳以上小学校修了前(第3子)は月額15,000円

※3歳以上小学校修了前(第1・第2子)・中学生は月額10,000円

・児童扶養手当

区 分	全部支給	一部支給	全額支給停止	合計(人)	金額(千円)
R2年度	356	249	97	702	322,604
R1年度	378	245	75	698	403,870
比 較	△ 22	4	22	4	△ 81,266

・遺児手当

区 分	就学児(15,000円/年)		未就学児(12,000円/年)		合 計	
	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
R2年度	24	349	1	12	25	361
R1年度	25	339	2	13	27	352
比 較	△ 1	10	△ 1	△ 1	△ 2	9

・施設入所面会旅費助成事業

区 分	申請世帯	金額(千円)
R2年度	0	0
R1年度	1	6
比 較	△ 1	△ 6

・入院助産措置状況

区 分	措置人員	金額(千円)
R2年度	1	779
R1年度	1	773
比 較	0	6

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区 分	短期利用事業			夜間養護等事業		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
R2年度	2	4	11	0	0	0
R1年度	1	2	9	0	0	0
比 較	1	2	2	0	0	0

・子ども相談事業の推進

家庭児童相談員 2名

家庭児童相談受付件数

(実件数)

項目	養護相談		保健相談	障がい相談							非行相談	
	児童虐待	その他		肢体不自由	視覚障がい	聴覚障がい	言語発達障がい等	重症心身障がい	知的障がい	発達障がい	く犯行為等	触法行為等
R2年度	139	21	0	1	0	1	4	67	6	0	0	
R1年度	101	111	2	1	0	0	5	62	42	0	0	
比較	38	△ 90	△ 2	0	0	1	△ 1	5	△ 36	0	0	

項目	育成相談				その他の相談	合計
	性格行動	不登校	適性	し育つけ・児		
R2年度	7	8	6	18	49	327
R1年度	0	2	1	5	6	338
比較	7	6	5	13	43	△ 11

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議 1回 実務者会議 1回 個別ケース検討会議 19回

・ひとり親家庭相談の実施

母子父子自立相談員相談指導件数

項目	生活一般								児童				
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	その他
R2年度	0	11	49	127	15	8	2	291	61	27	0	0	23
R1年度	0	4	55	130	19	2	0	350	50	31	0	1	30
比較	0	7	△ 6	△ 3	△ 4	6	2	△ 59	11	△ 4	0	△ 1	△ 7

項目	経済的支援・生活援助							その他						合計
	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置	たばこ販売	母子家庭向公営住宅	母子福祉施設の利用	母子生活支援施設		
R2年度	253	9	2	419	7	8	161	0	0	0	0	0	1,473	
R1年度	273	19	5	351	5	9	103	0	0	0	0	0	1,437	
比較	△ 20	△ 10	△ 3	68	2	△ 1	58	0	0	0	0	0	36	

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業

区 分	パソコン講座	ホームヘルパー	医療事務	介護技術	その他	合計
R2年度	0	0	0	0	2	2
R1年度	0	0	0	3	0	3
比 較	0	0	0	△ 3	2	△ 1

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業

区 分	理学療法士	作業療法士	保育士	准看護師	看護師	その他	合計	修了支援給付金※
R2年度	0	0	3	0	1	2	6	2
R1年度	0	0	3	0	2	1	6	2
比 較	0	0	0	0	△ 1	1	0	0

※養成課程が修了後1回支給

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

区 分	利用者数	金額 (千円)
R2年度	0	0
R1年度	0	0

・ひとり親家庭等日常生活支援事業

区 分	利用者数	利用回数	利用時間	金額 (千円)
R2年度	0	0	0	0
R1年度	1	2	8	13
比 較	△ 1	△ 2	△ 8	△ 13

・恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況

区 分		恵庭地区	柏地区	若草地区	恵み野地区	合計
R2年度	述へた利用者数(人)	337	395	431	320	1,483
	開設日数(日)	48	49	111	46	254
R1年度	述へた利用者数(人)	213	400	447	291	1,351
	開設日数(日)	48	44	73	41	206
比 較	述へた利用者数(人)	124	△ 5	△ 16	29	132
	開設日数(日)	0	5	38	5	48

●民間施設を含めた保育環境の確保(P. 97～98・102～104)

ライフスタイルや就労形態の多様化に伴い、保育サービスへのニーズが多様化する中、民間小規模保育事業所2か所の新規開設により0～2歳児の定員を拡大し、受け入れ態勢を確保しました。また、延長保育事業や休日保育事業、一時保育事業、地域交流保育事業を実施し、仕事と育児を両立させ、安心して働ける環境を整備するなど、保育サービスの向上に努めました。また、令和2年度より、保育士確保対策として、保育士就労支援事業を実施し、保育士不足解消に努めました。

・保育所等入所児童数（2号・3号認定こども）（令和3年3月31日現在）

区 分	年 齢 別 の 入 所 児 童 数							定員	入所率%
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
すずらん保育園	3	15	14	18	17	15	82	90	91.1%
島松いちい保育園	12	15	18	18	22	22	107	90	118.9%
すみれ保育園	3	15	17	16	15	15	81	90	90.0%
恵み野幼稚園・保育園	8	15	16	16	13	11	79	86	91.9%
ひまわり幼稚園・保育園	8	15	12	6	6	7	54	79	68.4%
さくら	11	16	14	18	13	13	85	75	113.3%
えほんの森	8	14	14	14	14	14	78	75	104.0%
幼稚舎えるむ	7	18	9	13	14	11	72	69	104.3%
えにわスマイル保育園	9	14	14	9	7	7	60	60	100.0%
かしわ幼稚園・保育園	6	12	13	8	12	6	57	86	66.3%
あいおい子ども園	12	19	13	14	14	18	90	90	100.0%
恵庭幼稚園	0	0	0	16	9	11	36	30	120.0%
恵庭保育園	0	6	11	0	0	0	17	18	94.4%
島松もみじ保育園	6	9	3	0	0	0	18	19	94.7%
しままつスマイル保育園	6	8	5	0	0	0	19	19	100.0%
合 計	99	191	173	166	156	150	935	976	95.8%
うち、他市町村からの広域受入	0	0	0	1	1	2	4		
他市町村への広域入所	1	2	1	1	0	2	7		

・多子世帯保育料軽減支援事業(保育料一部無償化)

対象 3歳未満児（第2子以降）

区 分	実人数	延人数
R2年度	206	1,918
R1年度	186	1,763

・休日保育事業

定 員 : 10名程度

開設時間 : 8時～18時

区 分	実人員	延人員	利用日数
あいおい子ども園	14	202	66
合 計	14	202	66

・地域交流保育事業

コロナ禍の影響により中止

・延長保育事業

保育時間 18時15分～19時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すずらん保育園	41	350	191
島松いちい保育園	58	1,577	283
すみれ保育園	46	547	261
恵み野幼稚園・保育園	36	295	155
ひまわり幼稚園・保育園	22	715	269
さくら	38	888	270
えほんの森	45	800	252
幼稚舎えるむ	34	517	142
えにわスマイル保育園	19	329	128
かしわ幼稚園・保育園	23	205	55
あいおい子ども園	46	863	261
島松もみじ保育園	7	106	72
しままつスマイル保育園	8	198	148
合 計	423	7,390	2,487

※短時間認定の時間外含む

・一時保育事業

対象児：1歳～就学前児

定 員：8名/日

保育時間：7時15分～18時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すみれ保育園	33	598	227
島松いちい保育園	16	164	128
あいおい子ども園	36	767	237
えほんの森	30	514	220
合 計	115	2,043	812

・すみれ保育園エアコン設置事業(P.98)

684千円

・保育士就労支援事業(P.103)

750千円

交付対象事業者 5法人6施設

交付対象保育士 20名

●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進

少子高齢化、地域の関係性の希薄化など、家族のあり方や地域社会の結びつきが変化し、様々な年代との関わりを体験することなく子どもや若者が育つ時代の中、人間関係構築のために大切なコミュニケーション力を形成するため、家庭や学校、地域などで、子どもと保護者等が交流し思いやりの心や良好な人間関係を育むことができるよう各事業の推進に努めました。

・えにわ赤ちゃん登校日

コロナ禍の影響により中止

・児童生徒 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施時期：若草小学校 令和2年11月、令和3年3月 延7回

：柏陽中学校 令和2年9月、11月、令和3年3月 延22回

対 象：若草小学校4年生、6年生 284人

：柏陽中学校全学年 184人

・教職員等 ヒューマン・コミュニケーション講座

コロナ禍の影響により中止

・市職員等 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施時期：令和2年10月、11月 延2回

対 象：市職員、消防職員等 61人

目標15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

●体験型事業の推進

市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうるおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

・コミュニティスクール事業

コロナ禍の影響により中止

・通学合宿事業

コロナ禍の影響により中止

・子ども塾 (P. 162～163)

事業分類	延事業回数	延実施日数	延参加人数	内 容
ものづくり・実験教室	0	0	0人	コロナ禍の影響により中止
宿泊型体験教室	0	0	0人	コロナ禍の影響により中止
体験学習	1	1	14人	食の体験イベント
合 計	1	1	14人	

・青少年宿泊研修施設利用状況 (P. 163)

利 用 者 : 市内児童、生徒、高校生及び保護者等並びに交流目的の市外児童、生徒及び高校生
 利用人数 : 54人 (前年度研修センター利用人数 412人)

・青少年育成事業

少年の主張中学校大会	参加校5校 (各校1人、書面にて審査)
えにわっ子ジュニアセミナー	コロナ禍の影響により中止
青 少 年 表 彰	団体活動者賞 (個人) 1人、優良勤労青少年賞1人
青少年・文化振興基金運用事業	スウェーデンルシアを迎える会 (中止)

・恵庭市新成人のつどい

コロナ禍の影響により延期

●読書活動による青少年の育成

ブックスタートで本と出会った乳児が成長するにしたがい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

・ブックスタート事業 (P. 167)

ブックスタートパックを9～10か月児健診を受診する親子に配布
 ・対象乳児：436人、配布パック数：410個

・ブックスタートプラス事業 (P. 167)

絵本とガイドブックを1歳6か月児健診を受診する親子に配布
 ・対象乳児：488人、配布パック数：445個

・私立幼稚園等図書環境整備支援 (P. 167)

・私立幼稚園及び認可外保育施設 11施設 441千円

・読み聞かせ活動の推進 (P. 167)

(おはなし広場開催状況) (単位：回、人)

区分	開催回数	参加者数	1回平均参加者数
本館	45	192	4.3
恵庭	16	87	5.4
島松	16	46	2.9
計	77	325	4.2

・家読推進及び講演会事業

・家読講演会「読書と生活習慣が子どもの脳を作る」
講師：川島 隆太 参加者138人

・小・中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒 18人 (小学校9人、中学校9人)
・作品点数 18点 (小学校9点、中学校9点)

・小・中学校学校司書の配置 (P. 153・157)

・市内13小中学校に各1名配置 (和光小 2名)

・小・中学校の図書の充実 (P. 153・157)

1) 小学校学校図書館の現況 (単位：冊)

	R2年度	R1年度	増減
貸出冊数	194,557	227,401	△ 32,844
一人当貸出数	51.7	59.9	△ 8.2
蔵書冊数	81,770	80,630	1,140
一人当蔵書数	21.7	21.2	0.5

2) 中学校学校図書館の現況 (単位：冊)

	R2年度	R1年度	増減
貸出冊数	45,419	41,315	4,104
一人当貸出数	23.3	21.7	1.6
蔵書冊数	61,661	60,111	1,550
一人当蔵書数	31.6	31.6	0.0

・図書館恵庭分館 I C化事業 (P. 167)

36,766千円

目標16 子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化する協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり (P. 149～150)

(教育振興推進交付金事業内容)

(単位：千円)

学 校 名	事 業 内 訳	事業費 (補助額)
恵庭小学校	竹飼育学習、総合学習、全校集会活動充実、児童登下校時安全対策、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	485 (335)
島松小学校	竹飼育学習、学校課題取組推進、特別活動推進、総合学習、花いっぱい運動・栽培活動推進、学校支援地域本部事業	311 (311)
柏小学校	竹飼育学習、いじめ・不登校対策研究等、教材園での栽培、校地内での体験活動、読書環境整備、児童の交通安全意識啓発、総合学習、ふれあい広場、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	341 (328)
和光小学校	竹飼育学習、学年学級活動推進、わ・和・輪スクール、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	415 (415)
松恵小学校	学校農園活動推進、体力づくり推進、基礎学力定着推進、国際理解教育推進、総合学習、竹飼育学習、集団づくりのための取組、情報図書館まつり、学校花壇活動の推進、学校支援地域本部事業	310 (310)
若草小学校	総合学習の充実、児童会活動の充実、竹飼育学習、学校力向上総合実践事業重点課題の達成、学校花壇の整備、学校支援地域本部事業	360 (360)
恵み野小学校	竹飼育学習、校舎内外の教育環境整備、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	397 (397)
恵み野旭小学校	児童会活動、竹飼育学習、基礎学力向上、総合学習、情報教育、環境整備、学校支援地域本部事業	317 (317)
恵庭中学校	吹奏楽演奏活動・楽器購入、総合学習、竹稚魚飼育・ふるさと教育、生徒会活動充実、PTA・町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	710 (710)
恵北中学校	学校運営推進事業、生徒会活動推進、総合学習、特別支援教育支援事業、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	449 (449)
恵明中学校	総合学習、竹稚魚飼育、生徒会活動充実、地域住民・保護者・生徒交流、吹奏楽部の充実・楽器整備、花壇整備の活動、学校支援地域本部事業	721 (721)
柏陽中学校	竹稚魚飼育、自主的な生徒の活動支援、総合学習、学校花壇及びフラワーロード整備活動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	566 (566)
恵み野中学校	竹の稚魚飼育、生徒会活動、情報教育推進、中庭整備、総合学習、学校緑化推進・環境美化奉仕、学校支援地域本部事業	357 (357)
合 計		5,739 (5,576)

●教育環境の整備促進

・幼稚園・認定こども園（1号認定こども）

（令和3年3月1日現在）

区 分	年齢別の入所児童数				
	満3歳	3歳	4歳	5歳	合 計
恵庭幼稚園	22人	44人	49人	61人	176人
島松幼稚園	1人	30人	26人	33人	90人
クラーク幼稚園	45人	68人	94人	84人	291人
第二かしわ幼稚園	30人	55人	63人	71人	219人
恵み野第二幼稚園	10人	36人	42人	35人	123人
恵み野幼稚園・保育園	11人	25人	36人	31人	103人
ひまわり幼稚園・保育園	23人	47人	58人	49人	177人
さくら	4人	3人	6人	4人	17人
えほんの森	2人	3人	6人	5人	16人
幼稚舎えるむ	8人	2人	3人	8人	21人
えにわスマイル保育園	0人	4人	3人	3人	10人
かしわ幼稚園・保育園	15人	29人	36人	40人	120人
あいおい子ども園	7人	8人	4人	3人	22人
合 計	178人	354人	426人	427人	1,385人

・特別支援教育の推進（P.148～149）

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、個別支援体制の強化をはじめとした総合的な支援体制の充実を図りました。

1) 学校の支援体制

- ・校内支援委員会 ～ 全小中学校13校に設置
- ・特別支援教育コーディネーター～ 13校に28名を指名

2) 巡回相談体制

- ・特別支援教育推進委員会 専門委員
（専門委員6名）

3) 学校補助員配置状況

（単位：校、人）

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	8	14	1日4時間、週5日間、 年間35週	通常学級在籍で特別な支援を必要 としている児童生徒
中学校	5	6		

4) 特別支援学級補助員配置状況

（単位：校、人）

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	7	10	週29時間勤務	特別支援学級在籍で支援を必要と している児童生徒
中学校	5	5		

5) 特別支援教育の振興（就学先決定状況）

（単位：校、学級、人）

区 分	特別支援 学校	特別支援学級						言語 通級 学級	発達 通級 学級	合 計
		情緒	知的	肢体	難聴	病弱	計			
新入学児童	2	8	4	0	0	0	12	0	0	14
小学校在学	0	11	3	0	0	0	14	8	25	47
新入学生徒	4	14	6	1	0	0	21			25
中学校在学	0	1	1	0	0	0	2			2
計	6	34	14	1	0	0	49	8	25	88

・児童生徒の相談体制の充実 (P. 147~148)

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等の問題への対応と未然防止のため、メンタルフレンド事業の普及やスクールソーシャルワーカーの配置をはじめ相談体制の充実を図りました。

1) 非行少年の状況

(単位：人)

区 分	R2年度			R1年度			比 較		
	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計
小 学 生	1 (1)	1 (1)	2 (2)	4 (1)	6 (6)	10 (7)	△ 3 (0)	△ 5 (△5)	△ 8 (△5)
中 学 生	14 (2)	1 (0)	15 (2)	23 (7)	4 (0)	27 (7)	△ 9 (△5)	△ 3 (0)	△ 12 (△5)
高 校 生	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
有職無職青年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 学 生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	16 (4)	2 (1)	18 (5)	28 (9)	10 (6)	38 (15)	△ 12 (△5)	△ 8 (△5)	△ 20 (△10)

* () 内は女子数

2) 電話相談件数

相談件数 3件 (前年度比11件減)

3) スクールカウンセラー活用事業

スクールカウンセラーの配置 (5名)

(単位：校、回)

	学校数	派遣回数
小学校	5	124
中学校	8	103
市民会館		12

市スクールカウンセラー派遣 1名 1,508時間
(道カウンセラーと兼任)
道スクールカウンセラー派遣 4名 425時間

相談内容別相談件数

(単位：件)

相談内容	いじめ	不登校	友人関係	家庭環境	その他	合 計
相談件数	0 (0)	348 (11)	48 (0)	179 (8)	821 (12)	1,396 (31)

相談者別相談件数

(単位：件)

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合 計
相談件数	212 (4)	347 (25)	707 (2)	130 (0)	1,396 (31)

※ () 内は市民会館相談件数

4) 不登校児童生徒の適応指導教室

- ・指導員の配置 専任3名
- ・通室状況 小学生23人・中学生36人通室
- ・学校復帰 完全復帰5人、部分復帰5人、不定期登校・別室登校6人

5)メンタルフレンド事業

不登校対策として、学生等ボランティアとスクールカウンセラーが相談役となり、ひきこもり等の児童生徒の自主性、社会性の向上に取り組みました。

ボランティア登録者数（北海道文教大学の学生）

28名（女性22名、男性6名）

派遣実績：中学生4件…メンタルフレンド5名派遣

6)なかよしさわやかDAY全市交流会

コロナ禍の影響により以下の代替事業を実施しました。

7月には当番中学校の集会の様子、呼びかけ等をDVDに収録し、全中学校で視聴し、全小中学校の児童生徒会役員でワークシートを実施しました。11月には当番小学校にて、いじめ防止に対する呼びかけをDVDに収録し、全小学校で視聴し、全小中学校の児童生徒会役員でワークシートを実施しました。

・学力・体力向上推進事業（P.150）

・学力・体力向上推進会議の設置

委員：9名 開催日：7月14日、9月3日、2月12日

・学力向上アドバイザーの設置 1名

・標準学力検査（NRT）の実施（小学校2～6年生、中学校全学年）

・英検IBA（英語力の測定）の実施（中学校全学年）

・地域人材の活用 小学校外国語授業 個人3名、1団体
体育授業等実技支援 1団体（7校、40回）

・小・中学校環境整備事業（P.155～156・159）

・恵庭小学校長寿命化改良事業	216,683千円
・恵み野旭小学校屋上防水改修事業	31,826千円
・島松小学校講堂トイレ改修事業	26,428千円
・和光小学校東校舎防音機能復旧事業	6,783千円
・小学校消防設備整備事業	532千円
・柏陽中学校校舎・講堂防音機能復旧事業	103,010千円
・恵み野中学校校舎・講堂石綿対策事業	27,297千円
・恵北中学校特別教室棟・講堂防音機能復旧事業	10,785千円
・中学校消防設備整備事業	945千円

・ICT教育環境整備事業（P.153・157）

・市内全小学校に指導者用デジタル教科書を整備	12,756千円
・市内全中学校に指導者用デジタル教科書を整備	6,787千円
・市内小学校のPC教室機器更新整備（恵庭小学校） タブレット型PC41台、サーバー一式、電子黒板1台	12,411千円

・学校における食農教育の推進 (P. 151~152)

一般財団法人恵庭市学校給食協会に学校給食事業を業務委託し、市内小・中学校の完全給食を実施しました。また、栄養教諭の授業による食育の推進、家庭への「給食だより」「しょくいく」配布や給食協会ホームページへの給食献立等の掲載により、市民への情報発信と食育の啓蒙を実施しました。

1) 小学校給食

・センター稼働日数 194日、実施学校 市内全校(8校)

<実施状況> (単位:回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	食数	757,612
実施回数	176 ~188	180 ~190	181 ~192	181 ~192	181 ~192	177 ~189		

2) 中学校給食

・センター稼働日数 191日 <実施状況>

(単位:回、食)

・実施学校 市内全校(5校)

学年	1年生	2年生	3年生	食数	379,874
実施回数	185 ~188	182 ~186	168 ~177		

3) その他

- ・給食だより・しょくいく発行: 毎月発行4月~3月(12か月)
- ・協会ホームページへの掲載: 毎月の給食献立及び食育情報
- ・市ホームページへの掲載: 主要な食材の産地等情報

・小・中学校給食センター施設整備事業 (P. 152)

- ・学校給食センター施設設備更新事業 55,132千円
- ・学校給食センター厨房用設備更新事業 2,310千円
- ・学校給食センター改修事業 6,248千円

目標17 手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携の強化、文化芸術の担い手やボランティアの育成に努めました。

●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

・桜町会館防音機能復旧事業 (P. 166)

・老朽化したボイラー等の機能復旧 1, 548千円

・中島会館外壁改修事業 (P. 166)

・老朽化した外壁の塗装及びLED照明の交換 7, 607千円

・市民会館音響設備整備事業 (P. 166)

・ワイヤレスマイク等の更新整備 968千円

・公民館活動等の充実 (P. 166~167)

(単位：講座・人)

講座等事業名	講座数	受講者数
市民講座	16	220
公民館サークル	37(団体)	432
日曜趣味講座	2	15
パソコン講座	4	46

(単位：講座・人)

講座等事業名	講座数	受講者数
親子ふれあい教室	1	21
ピアノコンサート	1	27

・公民館関係者交流研修会
コロナ禍の影響により中止

・図書資料の充実 (P. 167)

1)蔵書冊数の現況

(単位：冊)

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	160,176	41,155	201,331	11,531	212,862
恵庭	27,465	14,856	42,321	714	43,035
島松	22,541	9,852	32,393	427	32,820
計	210,182	65,863	276,045	12,672	288,717

2)貸出状況

(単位：冊)

区分	利用者数	一般書	児童書※	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	93,932	218,268	112,451	20,469	351,188	259	1,355.9
恵庭	25,498	61,230	45,918	3,867	111,015	237	468.4
島松	10,952	34,113	19,499	2,027	55,639	256	217.3
黄金	1,402	1,568	636	110	2,314	306	7.6
かしわ	490	705	112	32	849	306	2.8
北高	36	56	7	1	64	-	-
南高	0	0	0	0	0	-	-
計	132,310	315,940	178,623	26,506	521,069	-	2,052.0

※絵本、紙芝居は児童書に含む

3) 団体貸出状況 (単位：冊)

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	385	86	11,613
恵庭			6,717
島松			425
計			18,755

4) レファレンス(資料相談)状況

区分	件数
本館	8,263
恵庭	6,349
島松	4,516
計	19,128

(単位：件)

5) 予約リクエストサービスの状況 (単位：冊)

区分	所蔵資料の 受付件数	未 所 蔵									計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	小中学校	
本館	4,391	260	149	129	254	43	1	0	0	0	836
恵庭	2,933	170	52	41	57	9	0	0	0	0	329
島松	2,867	193	22	22	32	0	0	0	0	0	269
計	10,191	623	223	192	343	52	1	0	0	0	1,434

6) インターネット予約サービス

- ・受付件数：28,333件

・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

- ・学校への貸出冊数 8,374冊
- ・学校間の貸出冊数 3,217冊

・長寿大学の推進

生涯学習社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいづくりと健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。(コロナ禍の影響により9月開学)

- ・授業回数 13回
- ・学学生在籍数(最終) 195人

・えにわ学講座の推進

多様なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場としてえにわ学講座を開催しました。

令和2年度はコロナ禍の影響によりHPに写真で見る恵庭ふるさと講座を掲載しました。

- ・掲載回数 7回

・リカレント公開講座の推進

コロナ禍の影響により中止

・家庭教育支援事業

コロナ禍の影響により中止

・女性教育振興事業

コロナ禍の影響により中止

・生涯学習施設かしわのもり利用状況 (P.161)

- ・開館日数 300日 利用人員 21,710人
- ・利用内容 スポーツ練習場 42.8% 子どもひろば 18.0%
子育て支援 17.6% その他 21.6%

・夢創館の活用 (P. 161)

夢創館の活性化を図るため、自主文化事業をはじめ各文化団体と市が連携し事業を実施しました。

開館日数	315日	利用団体数	212団体	利用人数	4,936人	利用日数	185日
------	------	-------	-------	------	--------	------	------

指定管理者 開催事業	宇宙からの贈りものオーロラ&トークライブ (10回)	参加者100人
	手作り雑貨マーケット (3回)	参加者170人
連携等事業	百歳体操 (18回)	参加者302人
	伊藤恒良 (写真) 作品展	参加者140人
	徳田貴子ピアノリサイタル	参加者60人
	市制施行50周年テーマ曲発表会	参加者80人
	Bill Ringsコンサート	参加者88人

・郷土芸能団体の育成 (P. 160)

郷土芸能団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

- ・ 恵庭すずらん踊り保存会事業補助金 145千円
- ・ 恵庭岳太鼓保存会補助金 121千円

・史跡カリンバ遺跡の整備 (P. 164)

3,454千円

カリンバ遺跡について、史跡整備と土中に埋蔵されている漆製品等の保護等に役立てるため、水文環境調査・分析を行いました。また、史跡危険木の伐採と史跡の三角堰の補修工事を行ったほか、史跡保護等の啓発を目的に花壇整備や講演会、体験学習等をボランティア団体等と共同で開催しました。

・市内遺跡の発掘調査等 (P. 164~165)

13,574千円

- ・ 発掘調査

遺跡名	発掘等原因	面積	時代	出土遺物
ユカンボシE1遺跡外1遺跡	個人住宅	353.6m ²	縄文・アイヌ文化期	約9,000点

- ・ 試掘調査 8件 (島松仲町遺跡等)
- ・ 埋蔵文化財保護のための事前協議 19件 (ユカンボシE1遺跡等)
- ・ 埋蔵文化財包蔵地の照会 91件 (茂漁10遺跡等)

・金属製品保存処理事業 (P. 165)

2,926千円

- ・ アイヌ文化期土坑墓等出土の太刀等7点の再保存処理

・郷土資料館の運営・事業 (P. 163~164)

- ・ 入館者数 4,456人 (前年度比△2,284人)

(学習会等開催状況)

(単位：人、回)

区分	R2年度	R1年度	比較
学習会参加者数 (回数)	323 (8)	1,347 (31)	△1,024 (△23)

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

文化団体を育成支援し、市民が芸術活動を発表する場や機会などの環境を整備するとともに、芸術鑑賞機会の拡充を図りました。

・芸術鑑賞機会の充実

コロナ禍の影響によりえにわ市民文化祭は中止しました。代替として、恵庭市民の文化芸術活動の鑑賞機会を増やすことを目的に、「えにアートギャラリー」を開設し、恵庭市民による作品を公共施設花の拠点 (はなふる)、民間施設フレスポ恵み野の2会場で公募のうえ展示しました。

・文化団体の育成支援 (P. 160)

文化団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

- | | |
|----------------------|----------|
| ・ 恵庭市文化協会補助金 | 3 5 0 千円 |
| ・ 郷土芸能団体への補助金 (2 団体) | 2 6 6 千円 |
| ・ 文化活動奨励補助金 (3 団体) | 3 7 7 千円 |

・えにわ芸術文化宅配事業 (P. 160)

市民に地元作家の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業であり、令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネット上で作品の展示を行い、貸出申込することができる環境を整備しました。

- ・ 登録作品数 ～ 絵画44点、書26点、写真54点、アート書道12点、パッチワーク22点
- ・ 展示箇所 ～ 47箇所 (工場、金融機関、飲食店、事業所、幼稚園等)

・学習支援体制の充実

市民の一人ひとりが生涯を通じて学ぶことができるよう、関係機関や団体と連携して学習機会や学習情報の提供、指導者の養成や学習ボランティア活動への支援や人材の育成に努めながら、総合的な学習活動の推進を図りました。

・海外都市交流の促進 (P. 66)

恵庭市国際化の指針及び恵庭市国際化推進アクションプランに基づき、多様な交流を通じた世界に開かれた地域づくりと市民と地域の外国人にとって住みよいまちづくりに取り組みました。また、令和2年度は日本語学習支援ボランティアの養成と人材発掘を目的に、日本語ボランティア入門講座 (オンライン) を実施しました。

- ・ 多文化共生のまちづくり連絡協議会の開催 (書面)
- ・ 日本語ボランティア入門講座 (オンライン) 全6回 受講者39名
- ・ 自動翻訳機の活用
窓口等における多言語対応のための貸し出し件数：4件

・恵庭市史の編さん (P. 58)

6, 6 6 9 千円

恵庭市史編さん委員会の開催

- | | | | |
|-----------------|------|--------|-------|
| ・ 第1回恵庭市史編さん委員会 | 令和2年 | 5月18日 | 出席者9名 |
| ・ 第2回恵庭市史編さん委員会 | 令和2年 | 7月9日 | 出席者9名 |
| ・ 第3回恵庭市史編さん委員会 | 令和2年 | 10月15日 | 出席者9名 |
| ・ 第4回恵庭市史編さん委員会 | 令和3年 | 2月5日 | 出席者7名 |

資料収集

- ・ 令和2年度中収集資料 9点 (寄贈・資料提供含む)

執筆原稿の校閲

- ・ 社会教育、社会教育施設、通史、文化、文化財、植物、工業・鉱業、スポーツ、商業・金融

基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち

目標18 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安心安全に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

J R 駅周辺を地域拠点として位置づけ、都市機能の集積を目指すとともに、郊外部における新たな市街地開発を抑えたコンパクトなまちづくりを進めました。

・恵庭駅西口土地区画整理事業 (P. 241)

222,850千円

道路整備に支障となる移転補償を行い、都市計画道路や区画道路の整備が完了しました。

これに伴い、令和2年度に換地処分も完了し、令和3年度からは事業清算期間となります。

※事業清算期間 (R3~7)

・島松駅周辺再整備事業 (P. 137)

5,493千円

北海道運輸局、J R 北海道、恵庭市の3者で構成される協議会において、「J R 千歳線島松駅生活交通改善事業計画」を策定し、J R 北海道が事業主体となり島松駅のバリアフリー化を推進しており、令和2年度については実施設計を行いました。

・バリアフリー特定事業 (P. 135)

64,154千円

バリアフリー基本構想に基づき、公共施設や都市公園、商業施設及びその経路のバリアフリー化を進めました。

・実施路線

恵み野団地中央通 (歩道) L = 174m W = 4.5m × 2

・西島松地区土地利用推進事業 (目標13に別掲)

調査に基づき、令和2年度は防風林解除協議、町名変更協議、測量調査を実施しました。

目標19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内3駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

●水・緑など恵庭の魅力の維持

・小学生ふるさと景観絵画コンクール (P. 149)

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

- ・表彰作品展示期間 令和2年9月24日～9月30日
- ・市長賞1名、教育長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞7名、佳作9名

・水と緑のまちづくり推進事業 (P. 130・138)

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、水と緑のまちづくり推進について、市民と協働し取り組みました。

- ・記念樹贈呈事業 新築・誕生・結婚記念 イチイ12本、ハスカップ53本、ブルーベリー172本、ヤマボウシ32本
- ・市民植樹 公園・緑地帯 アジサイ100本、エゾヤマザクラ3本
- ・花壇植栽事業 グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・国道36号
- ・公共施設花壇設置事業 市庁舎・支所・出張所、図書館等各施設
- ・緑の少年団支援事業 松恵小学校5・6年生 稲刈り体験、会場装飾など

・街路樹剪定事業 (P. 134・137)

25,464千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的に剪定等を行い、快適な道路環境の維持に努めました。

・植樹樹・植樹帯管理助成事業 (P. 134)

1,621千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹樹・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かで潤いのある街づくりを推進しました。

- ・実施団体：34団体

・公園施設長寿命化改修事業 (P. 138)

35,370千円

- ・公園遊具改修 7公園10施設 外柵更新

・街区公園美化活動助成金 (P. 138)

1,458千円

- ・助成対象町内会 15町内会 28公園

・河川愛護会補助金

コロナ禍の影響により中止

・千歳川流域の治水対策の促進

千歳川河川整備計画に基づき、千歳川流域治水対策の早期実現に向けて国、道、流域自治体が連携して事業の促進を図ります。

・恵庭かわまちづくり事業 (P. 65)

35,035千円

花の拠点関連事業として公園と一体化する河川・水辺の環境・景観形成を図ります。

- ・敷地造成・修景施設工事、植栽工事

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

・恵浄殿改修事業 (P.112)

22,662千円

恵浄殿改修計画に基づく主な改修

- ・4号炉耐火ベッド交換、1号炉、4号炉、燃焼炉、セラミック1層張替え、コンプレッサー改修
- ・照明設備のLED化改修

・墓園整備事業 (P.275)

1,100千円

- ・恵庭第1墓園 改修 (階段手摺設置、東屋撤去、車止め設置工事)

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設が設置されていることにより生じる障害を防止し周辺地域における生活環境の向上を図りました。

- ・防音(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条第2項)
- ・民生安定施設整備(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条)

(単位：千円)

事業名	種別	事業費	補助金	その他
和光小学校東校舎防音機能復旧事業費	防音	6,783	6,104	679
恵北中学校増築校舎・講堂防音機能復旧事業費	防音	10,785	9,706	1,079
柏陽中学校校舎・講堂防音機能復旧事業費	防音	103,010	92,708	10,302
桜町会館防音機能復旧事業費	民生安定	1,548	628	920
無線放送施設整備費	民生安定	7,469	5,601	1,868
花の拠点整備事業費	民生安定	447,627	271,506	176,121
合 計		577,222	386,253	190,969

※事業費は補助事業費とし、補助基本額以外の関連事務経費を含む。

・国有提供施設等所在市町村助成交付金 (P.20)

区 分	交付額(千円)
R2年度	250,439
R1年度	250,238
比 較	201

・特定防衛施設周辺整備調整交付金防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条)
(P.20~21)

区 分	交付額(千円)
R2年度	367,726
R1年度	337,915
比 較	29,811

・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の推進

(単位：千円)

事業名	事業費	調整交付金	その他
子ども医療費助成事業(基金造成)	53,000	53,000	0
発達支援センター暖房設備等改修事業	8,613	7,860	753
恵浄殿改修事業	22,662	20,032	2,630
松園線改良舗装事業	41,767	41,360	407
道路改良整備事業	55,478	52,722	2,756
消火栓更新事業	12,786	11,000	1,786
消防用資器材整備事業	3,168	2,885	283
消防団資器材整備事業	1,380	1,287	93
はしご付消防ポンプ車更新整備事業(基金造成)	57,687	57,687	0
消防指令センターサーバ更新整備事業	19,910	18,093	1,817
給食センター施設整備更新事業	55,132	55,000	132
I C T教育整備事業	19,543	18,333	1,210
パソコン教室機器更新整備事業	12,411	12,100	311
防災備蓄品整備事業	7,348	7,000	348
給食センター厨房用設備更新事業	2,310	2,159	151
給食センター改修事業	6,248	5,920	328
学校消防設備整備事業	1,477	1,288	189
合計	380,920	367,726	13,194

※事業費には調整交付金基本額以外の関連経費を含む

・再編交付金事業（駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法）（P.21）

(単位：千円)

事業名	事業費	再編交付金	その他
市営牧場車両更新事業	4,520	4,230	290
消防用資器材整備事業	3,903	3,658	245
救急用資器材整備事業	2,727	2,590	137
合計	11,150	10,478	672

※事業費には再編交付金基本額以外の関連経費を含む

目標20 安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

●除排雪の維持

・除雪の状況 (P. 133~134)

区分	延長 (km)						出動日数(日)	
	車道(直営)	車道(委託)	車道計	歩道(直営)	歩道(委託)	歩道計	直営	委託
R2年度末	154.5	386.7	541.2	49.5	141.7	191.2	29	15
R1年度末	154.5	386.7	541.2	50.3	140.3	190.6	34	15
比較	0.0	0.0	0.0	△ 0.8	1.4	0.6	△ 5	0

・高齢者除雪サービス事業 (目標9に別掲)

高齢者世帯など除排雪作業が困難な方へ、地域ぐるみのボランティアなどによる支援を行いました。

●身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)

第3次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第2次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。

・新公共交通システムの構築 (P. 60)

98,516千円

運転免許証返納者を対象に、エコバス・エコタク共通回数券の交付を行い、利用促進を図りました。

- ・地域公共交通活性化協議会 : 5回開催
- ・えにわコミュニティバス運行状況

路線	便数 ()は土・日・祝日	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券・ 定期券収入(円)
A・Bコース	46便(27便)	256,129	701.7	42,978,313

- ・乗合タクシー運行状況

便数	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券 収入(円)
7便	6,714	22.9	1,548,900

・市民駐車場・駐輪場の管理 (P. 59・284)

- ・有料駐車場状況

(単位:台)

駐車場名	面積(m ²)	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	105	26,725
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	125	21,439
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	17,022
恵み野跨線橋下東	3,977	H21.1.1	72	16,261
恵み野跨線橋下西	3,305	H21.1.1	73	9,446
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	22,460

- ・駐輪場状況

(単位:台)

駐輪場名	収容台数	駐輪場名	収容台数
恵庭駅	東口(札幌側)	恵み野駅	東口
	東口(千歳側)		西口
	西口高架下	島松駅	
	西口屋内	サッポロビール庭園駅	

・放置自転車対策 (P. 59)

1,468千円

●橋梁耐震化など生活道路の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備により地域間の連携を図るとともに、道路改良や維持修繕、歩道の整備により、安全な交通の確保と沿道の環境整備を進めました。

・道路・街路整備事業 (P. 135~136)

1)生活道路整備事業 (調整交付金事業) 55,478千円

3路線、改良舗装工事 L=357.67m

2)生活道路整備事業 (地方道路等整備事業) 47,394千円

1路線、改良舗装工事 L=231.03m

6路線、測量調査設計 L=740.00m

・市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
R2年度末	534,350	396,498	74.2
R1年度末	534,220	395,172	74.0
比較	130	1,326	0.2
増加率(%)	0.0	0.3	0.3

・道路補修事業 (P. 134)

1)道路橋梁改修事業 182,008千円

簡易舗装修繕

恵み野地区・柏陽地区 車道オーバーレイ A=13,688㎡

歩道舗装補修 A=2,166㎡

道路排水施設改修 道路補強土壁改修

恵庭駅・恵み野駅エレベーターエスカレーター改修

2)道路附属施設補修事業 (社会資本整備総合交付金事業) 16,522千円

照明灯修繕19基 (自立式14基、電柱共架式2基)

	既設照明灯数 (基)	うち水銀・ナトリウム灯 (基)	うちLED灯 (基)	電力使用料 (千円)
R2年度	2,196	1,958	238	43,572
R1年度	2,199	1,977	222	49,474
比較	△3	△19	16	△5,902

・橋梁長寿命化事業 (P. 134~135) 224,403千円

橋梁補修工事3橋、橋梁補修設計3橋、橋梁調査1橋(207,565千円)

橋梁点検16橋 (16,838千円)

・鉄道横断施設整備事業 (P. 135) 73,711千円

島松大通アンダーパス補修 L=72.86m

・南12号橋橋梁整備事業 (P. 136) 162,792千円

南12号橋の架替えに伴う道路整備 L=1,297.48m

・南26号交差点改良事業 (P. 136) 284千円

国道36号との交差点の渋滞緩和のため、右折車線設置に向けて用地買収を行いました。

・自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信

令和2年度は、コロナ禍の影響により中止となりましたが、コロナ後の新たなイベント手法について検討を進めました。

目標21 安定した水供給と持続的な下水処理

人口減少社会を見据えた効率的な事業運営のため、安全で良質な水道水源の確保と保全の維持及び、下水の適正処理と下水道資源の有効活用に努め、持続可能な循環型社会の構築を目指しました。

●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

将来推計人口や現状施設の状況を見据えた事業計画に基づき、令和2年度も効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。

- ・ 恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略(令和2年3月策定 計画期間 令和2年度～令和11年度)
- ・ 恵庭市公共下水道事業基本計画(平成29年3月策定 計画期間 平成29年度～令和2年度)
- ・ 恵庭市下水道事業経営戦略(平成30年5月策定 計画期間 平成30年度～令和9年度)

●長寿命化事業・耐震化事業・分流化事業による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めました。

・ 配水管等整備事業 (P. 332～333)	518,196千円
1) 配水管布設工事	36,442千円
・ φ50～φ150	L = 999.1 m
2) 配水管布設替工事	406,309千円
・ φ50～φ200	L = 8,019.2 m
3) メーター取替工事等	57,614千円
・ 検満メーター取替	4,360個
4) その他工事	17,831千円
・ 恵み野団地中央通配水管継手補強工事	
・ 東2線配水管布設替工事 附帯工 他	
・ 緊急貯水槽整備 (目標13に別掲)	
・ 花の拠点整備工事 工事監理等委託業務	

・下水道管渠等の整備 (P. 387)

518,348千円

- 1) 分流化
 - ・汚水管布設 φ150～φ250mm L=2,233.45m
- 2) 老朽化対策
 - ・管更生(汚水) φ600mm L=368.00m
- 3) 浸水対策
 - ・雨水管布設 φ250～φ350mm L=88.10m
- 4) サービス管布設(汚水整備)
 - ・汚水管布設 φ150mm L=42.15m
- 5) 跨線橋架替関連
 - ・汚水管布設 φ200mm L=113.67m
 - ・雨水管布設 φ250～φ1,100mm L=156.49m

・公共下水道 整備及び水洗化状況

区 分	令和2年度末	令和元年度末	比 較
認可区域 (ha)	1,887.1	1,881.4	5.7
整備済区域 (ha)	1,867.6	1,866.2	1.4
整備率 (%)	99.0	99.2	△ 0.2
処理区域内人口(普及人口) (人)	68,356	68,205	151
水洗化人口 (人)	68,233	68,063	170
水洗化率 (%)	99.8	99.8	0.0
水洗化戸数 (戸)	21,529	21,340	189

・下水終末処理場整備事業 (P. 388)

852,120千円

- 1) 乾燥施設建設工事
 - ・乾燥施設建設工事委託に関する協定
- 2) 耐震補強工事
 - ・耐震補強工事委託に関する協定

・個別排水処理施設整備事業 (P. 388)

6,512千円

- ・新設 3基(5人槽 1基、7人槽 1基、10人槽 1基)

・官民連携バイオガス発電事業 (P. 365)

恵庭下水終末処理場では、地域バイオマスとしてし尿・浄化槽汚泥及び生ごみを受入れ、下水汚泥と混合処理することで発生するバイオガスを利用した発電事業を行っています。

令和2年度からは、ごみ焼却施設から供給される排熱を既存の加温設備の熱源として利用することで発電に利用できるバイオガス量が大幅に増えることを踏まえ、直営事業(場内利用)から固定価格買取制度(FIT)を活用した民設民営による発電事業へ転換しました。

市は民間発電事業者(水ingエンジニアリング株)にバイオガスを売却、民間発電事業者はバイオガスを利用して発電し、売電を行います。

- ・バイオガス売却量 1,868千Nm³
- ・バイオガス売却益 83,651千円
- ・バイオガス発電量 3,610千kwh

目標22 住み続けたいなるまちづくり 住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

・住居表示事業 (P. 78～80)

14,236千円

令和元年度に、「恵庭市の住居表示に関する基本計画」の見直しを行い、相生町と漁町2地区の実施にて計画を完了する方針としました。

令和2年度に相生町を実施し、令和4年度以降に漁町を実施する予定です。

・相生町 対象世帯 約1,161世帯 対象人口 1,957人 (R3.3末) 面積25.7ha

・市営住宅の管理

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕・改修工事の実施や、柏陽・恵央団地建替事業の推進を図るため、他の市営住宅への移転や、新たな市営住宅の建設を検討しました。

・市営住宅改修事業 (P. 139～140)

7,430千円

- ・給水メーター取替工事 (桜町団地4号棟、寿第一団地1号棟)
- ・福住団地1号棟屋根外壁改修実施設計
- ・消防設備整備

・市営住宅維持修繕 (P. 139～140)

29,747千円

平成30年度より実施している民間事業者への一括委託化により、初期対応及び緊急性判断などを迅速に行うことが可能となり、市営住宅管理業務の効率化を図っております。

- ・新規入居者用修繕 7室

・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業 (P. 141)

14,618千円

建替事業へ向けて、柏陽団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施しました。

- ・移転件数 26戸 ・移転先修繕 16室

・令和2年度末市営住宅管理戸数

(単位：戸)

名称	建築年度	戸数	形式
柏陽団地	S46～S52	328	2DK, 3DK
恵央団地	H15～H24	182	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52～S54	166	3DK
桜町団地	H3～H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53～S59	28	3DK
有明団地	H元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第1団地	S54～S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第2団地	S41～S42	37	2DK
寿第3団地	S49～S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,162	

目標23 ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、適正なごみ処理体制の維持のため施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

●ごみ処理施設の整備・運営

・ごみ処理場施設更新 (P. 116・263)

9, 4 2 8 千円

- ・ごみ処理場流量計更新
- ・ごみ処理場トラックスケール更新

・焼却施設管理運営 (P. 118・263~264)

3 5 8, 1 1 2 千円

令和2年度に焼却施設が本稼働したことにより、廃棄物の減量化と適正処理を図るとともに、熱エネルギーの有効利用を進めました。

- ・令和2年度 焼却処理量 13,313.8t

●ごみ減量化の推進、資源リサイクルの推進

市民、事業者、行政の役割と協働により、ごみの減量化とごみ分別を徹底するとともに、資源リサイクルを推進し、環境保全と持続可能な資源循環型社会の形成を目指しました。

・家庭ごみ有料化事業・ごみ発生排出抑制対策の実施 (P. 115~117)

1) 家庭ごみ有料化事業の実施

- ・ごみ減量率 25.2% (可燃・生ごみ・不燃・粗大・資源)

※有料化前の平成21年度対比

2) ごみ減量化や資源物収集に関する思想普及の取組み

- ・廃棄物減量啓発誌「ごみ減量大作戦」(年1回発行)

3) 資源回収奨励事業

区 分	数量	備考
集団資源回収量 (t)	1,710	集団資源回収量内訳
資源物分別収集量及び直接搬入量 (t)	2,302	紙類: 1,612 t
資源回収団体奨励金交付事業		(うち紙製容器) 84 t
実施団体	74	ペットボトル・ビン・缶:
交付額(千円)	5,376	46 t
資源物全体に対する割合 (%)	42.6	その他: 52 t

4) その他

- ・ごみカレンダー全戸配布

目標24 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについての調査、研究を進めました。

●地域環境美化活動への支援

・環境美化活動の推進

ボランティア袋の配布

窓口	17,025枚
町内会	31,990枚

環境美化等推進員
登録件数

町内会	61町内会・自治会
人数	88名

集合住宅ごみ等優良
保管場所累計認定件数

件数	40件
----	-----

・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：237日間（2人体制）

管理職パトロール：9日間（延べ36人）

●地域に応じた自然環境の保護と管理（P.111）

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

・水質汚濁調査

- ・定期河川水質調査：市内7河川10ヵ所（年6回）、追加調査：柏木川6ヶ所（年1回）
- ・ゴルフ場農薬検査：市内3ゴルフ場（年1回）、地下水調査：4ヶ所（TPH試験1回）

・自動車騒音常時監視委託

- ・騒音測定：島松千歳線、恵庭停車場線（恵み野東5、緑町1）
- ・面的評価：島松千歳線、恵庭停車場線 調査区間5.7Km
（島松東町、上山口、栄恵町、相生町）

・悪臭調査

- ・悪臭防止法に基づく臭気物質濃度及び臭気指数の調査：1事業所、1回

●省資源・省エネルギーの促進（P.112）

「恵庭市 COOL CHOICE 宣言」に基づく地球温暖化対策に資する情報発信、環境省の補助金を活用した“地方と連携した地球温暖化対策活動推進事業”、省エネ機器導入促進を目的とした“恵庭市低炭素まちづくり促進事業”等を実施しました。

・環境審議会の開催（2回）

悪臭防止法の規制方式の変更、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の実績、地球温暖化対策事業について協議を実施しました。

・恵庭市低炭素まちづくり促進事業

省エネ関連機器を導入する市民を対象に奨励金を交付しました。

- ・ガスエンジンコージェネレーション：5件

・COOL CHOICEの取組み

- ・WEB掲載用啓発画像、動画制作（子ども向け5分、大人向け30秒）
- ・WEBサイトページ制作及び運営 ・WEB広告及びYouTube広告掲載
- ・小中学生向け啓発リーフレット作成 ・フリーペーパー「ちゃんと」啓発記事掲載

